

2015年9月期 決算説明会

シミックホールディングス株式会社

2015年11月12日



2015年9月期 決算概要 (2014年10月1日～2015年9月30日)

取締役専務執行役員CFO
望月 渉

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2015年9月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援および分析サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックバイオリサーチセンター (株)応用医学研究所 (株)JCLバイオアッセイ CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC(Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC(Beijing) Co., Ltd. CMIC, Inc.
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品および一般用医薬品などの製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO足利(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援および医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	シミックホールディングス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発および販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

- (株)シミックエムピーエスエスは、2014年10月1日付で商号をシミック・アッシュフィールド(株)に変更しております。
- (株)応用医学研究所は、2014年10月1日付で報告セグメントをCMO事業からCRO事業に変更しております。セグメント別の業績の前期比増減額および率につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しております。
- 2015年3月1日付で(株)JCLバイオアッセイおよびCMIC, Inc. (旧JCL BIOASSAY USA, Inc.) を完全子会社化しております。
- 2015年10月1日付で(株)応用医学研究所は、(株)JCLバイオアッセイを吸収合併し、商号をシミックファーマサイエンス(株)に変更しております。

2015年9月期 総括

Project Phoenix ~業績V字回復と持続的成長を目指して~

・ CRO事業

日本市場参入の支援業務と非臨床業務の強化

- 2014年12月 CDISC (Clinical Data Interchange Standards Consortium) 推進室新設
- 2015年3月 JCLバイオアッセイを完全子会社化 (分析化学サービス業務等の非臨床分野の強化)
- 2015年5月 再生医療分野のコンサルティング事業促進のため専任チームを設置

・ CMO事業

構造改革の推進と新規受注の獲得

- 2014年10月 UDG Healthcare plcとLOIを締結
(パッケージングアウトソーシングの戦略的事業提携)
- 2015年3月 KBI Biopharma Inc.をJSR(株)・(株)産業革新機構と共同で買収
(バイオ医薬品の技術導入)

・ CSO事業

MR派遣業務の受注力強化とサービスモデル拡充

- 2014年10月 シミック・アッシュフィールドが営業開始 (UDG Healthcare plcとのJV)

・ ヘルスケア事業 新規受注の獲得とコスト削減

・ IPD事業

黒字化に向けた売上拡大

- 2014年11月 東レ・メディカル製品のコ・プロモーションおよび安全管理業務の実施
- 2015年1月 アステラス製薬とオーファンドラッグ等3製品の製造販売承認の承継契約を締結
(4月1日付「ソマゾンR注射用10mg」販売開始)

・ その他

- 2014年10月 FY2015 連結納税制度の導入

連結損益計算書（要約）

	2014/9		2015/9		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	52,836	100.0	55,904	100.0	+3,068
営業利益	2,766	5.2	1,411	2.5	△1,354
経常利益	2,645	5.0	970	1.7	△1,674
当期純利益	1,174	2.2	△542	—	△1,716
1株当たり 当期純利益	65円26銭		△29円57銭		

平成27年度税制改正及び一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、繰延税金資産のうち829百万円を取り崩し、法人税等調整額を計上した影響を受ける

セグメント別売上高及び営業利益

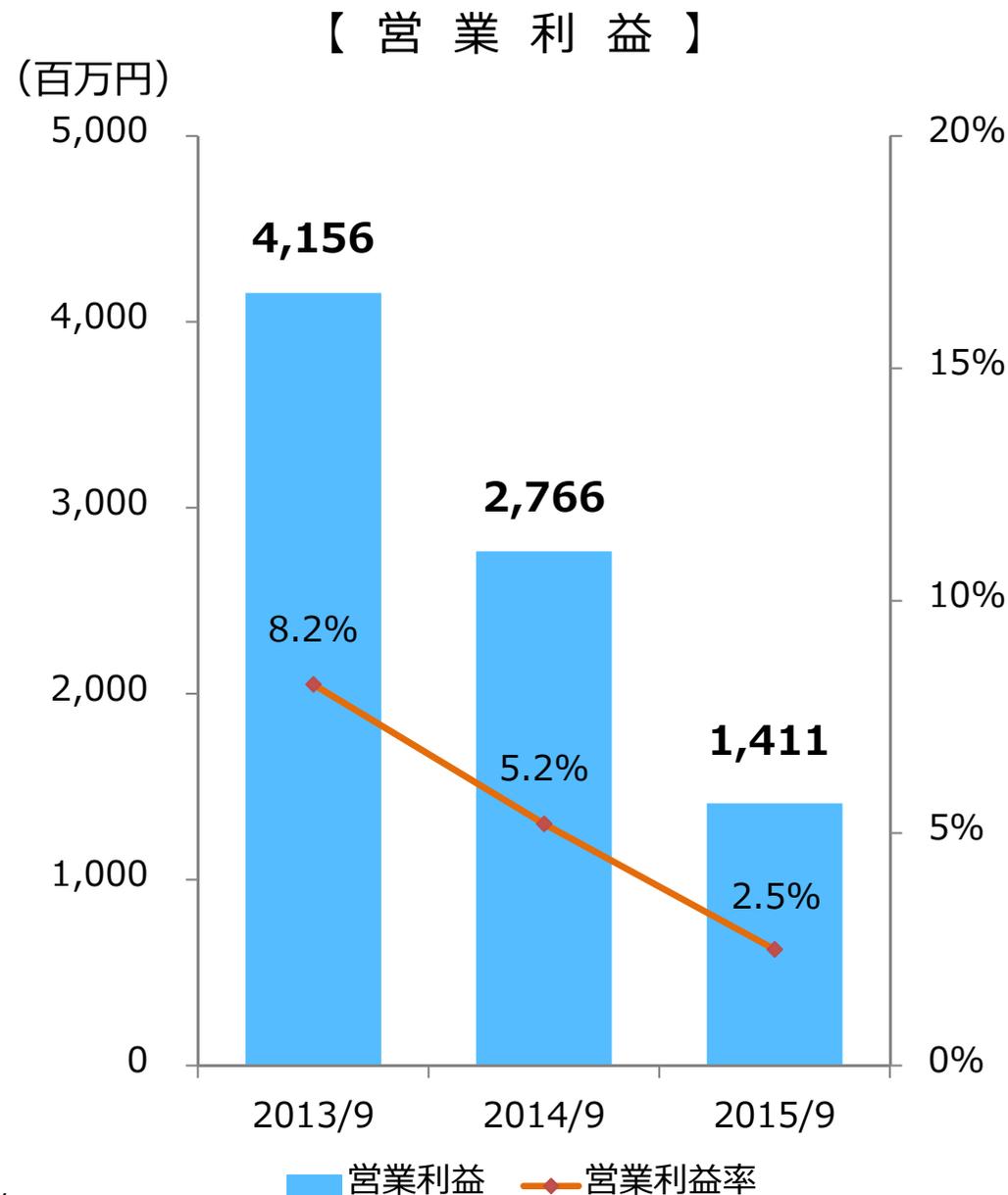
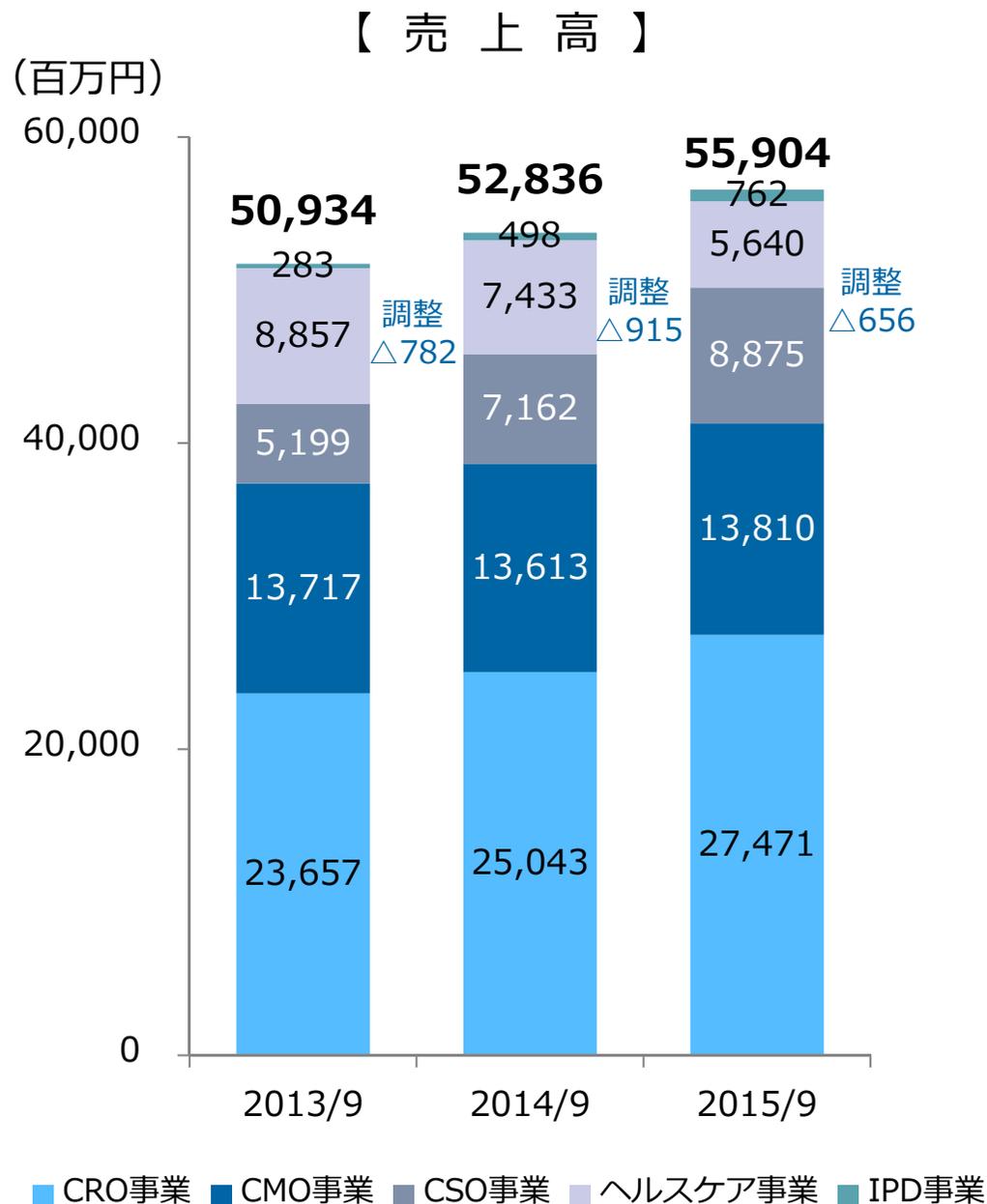
		2014/9	2015/9		
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	25,043	27,471	2,428	+9.7
	営業利益	4,830	5,092	261	+5.4
C M O 事業	売上高	13,613	13,810	197	+1.4
	営業利益	379	△325	△704	-
C S O 事業	売上高	7,162	8,875	1,712	+23.9
	営業利益	645	716	71	+11.0
ヘルスケア事業	売上高	7,433	5,640	△1,792	△24.1
	営業利益	△521	△1,188	△667	-
I P D 事業	売上高	498	762	263	+52.9
	営業利益	△546	△356	190	-
調 整 額	売上高	△915	△656	259	-
	営業利益	△2,020	△2,526	△506	-
合 計	売上高	52,836	55,904	3,068	+5.8
	営業利益	2,766	1,411	△1,354	△49.0

受注高・受注残高

	2014/9		2015/9			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	27,429	38,221	31,587	+15.2	42,430	+11.0
C M O 事業	15,940	3,662	13,350	△16.3	3,240	△11.5
C S O 事業	8,725	5,498	10,174	+16.6	7,247	+31.8
ヘルスケア事業	3,360	8,284	6,229	+85.4	8,908	+7.5
I P D 事業	618	144	905	+46.5	327	+126.0
合 計	56,074	55,810	62,247	+11.0	62,153	+11.4

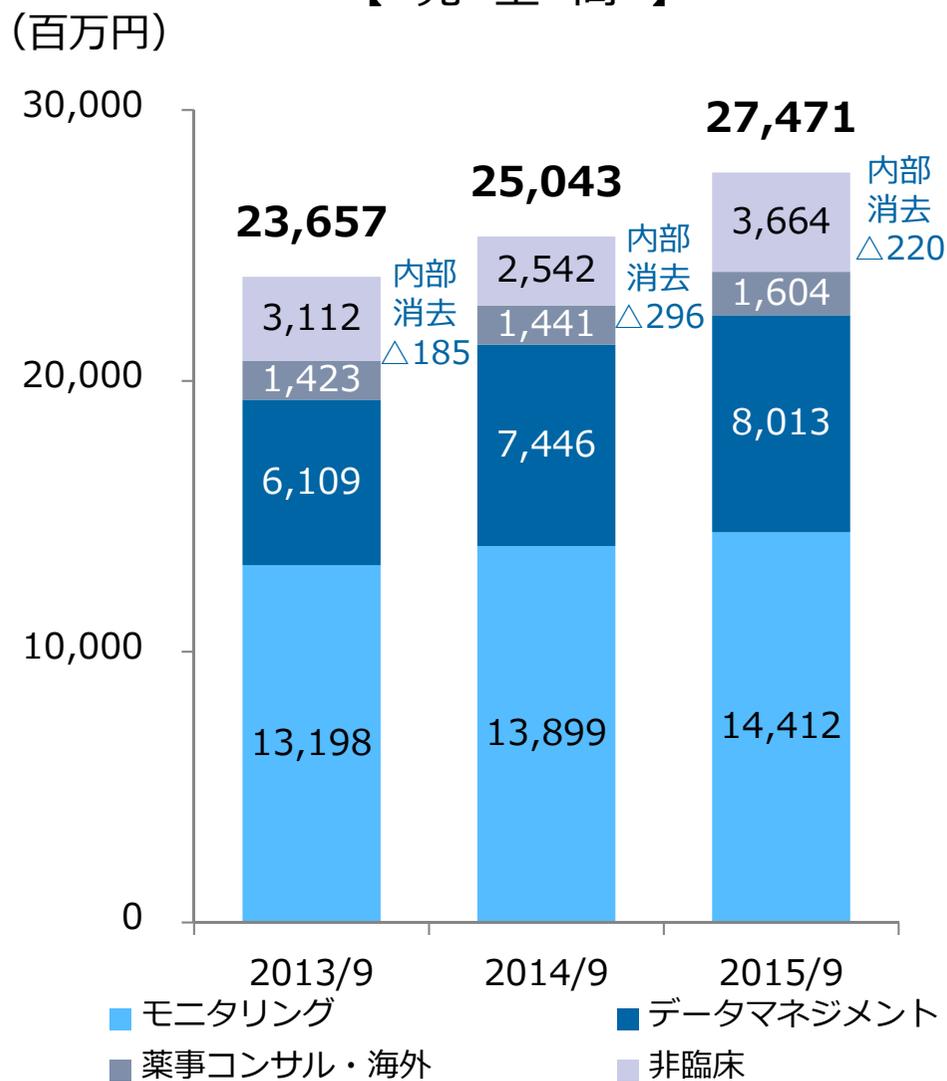
- CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- (株)応用医学研究所のセグメント変更は、反映済み。
- CRO事業の受注高には、第2四半期に連結子会社となった(株)JCLバイオアッセイ及びCMIC, Inc.の第2四半期末の受注残高1,959百万円を含む。

連結売上高および営業利益の推移

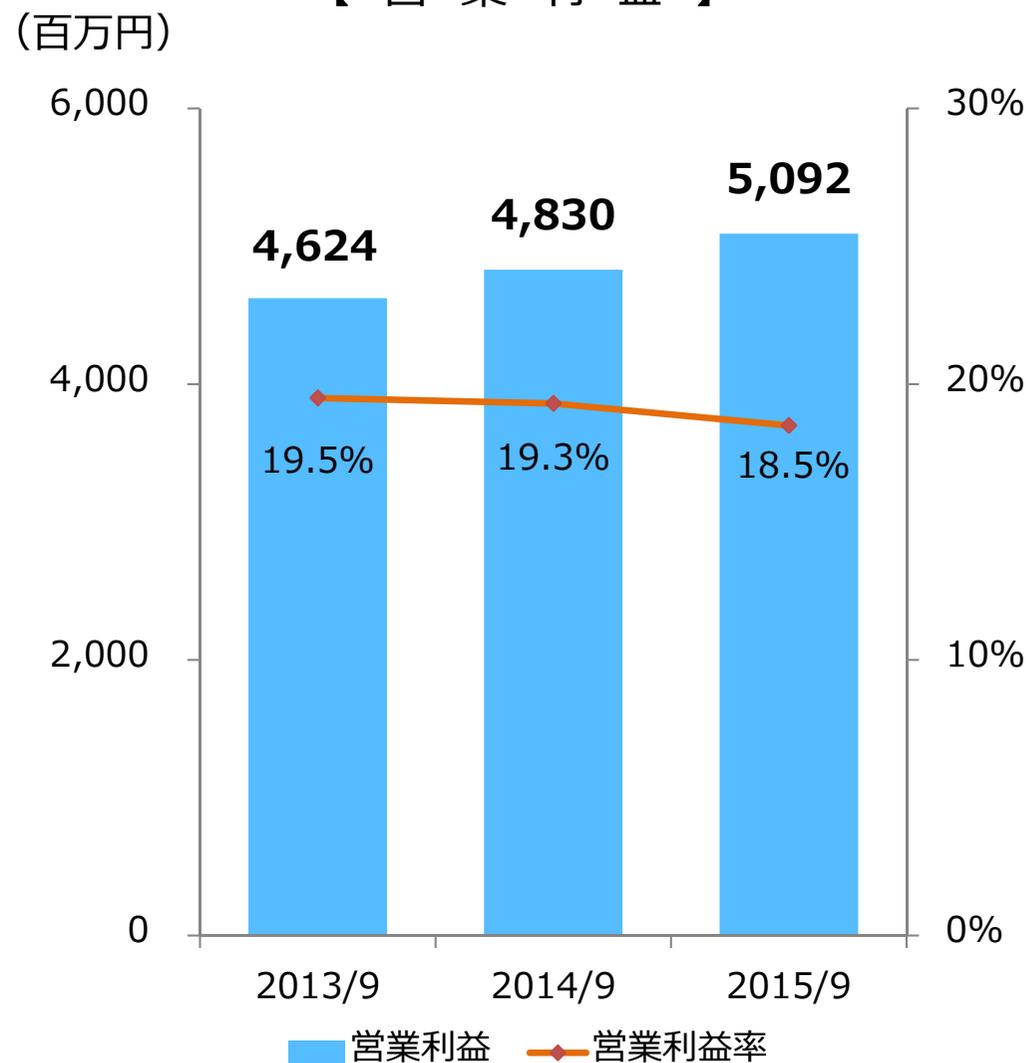


医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高】

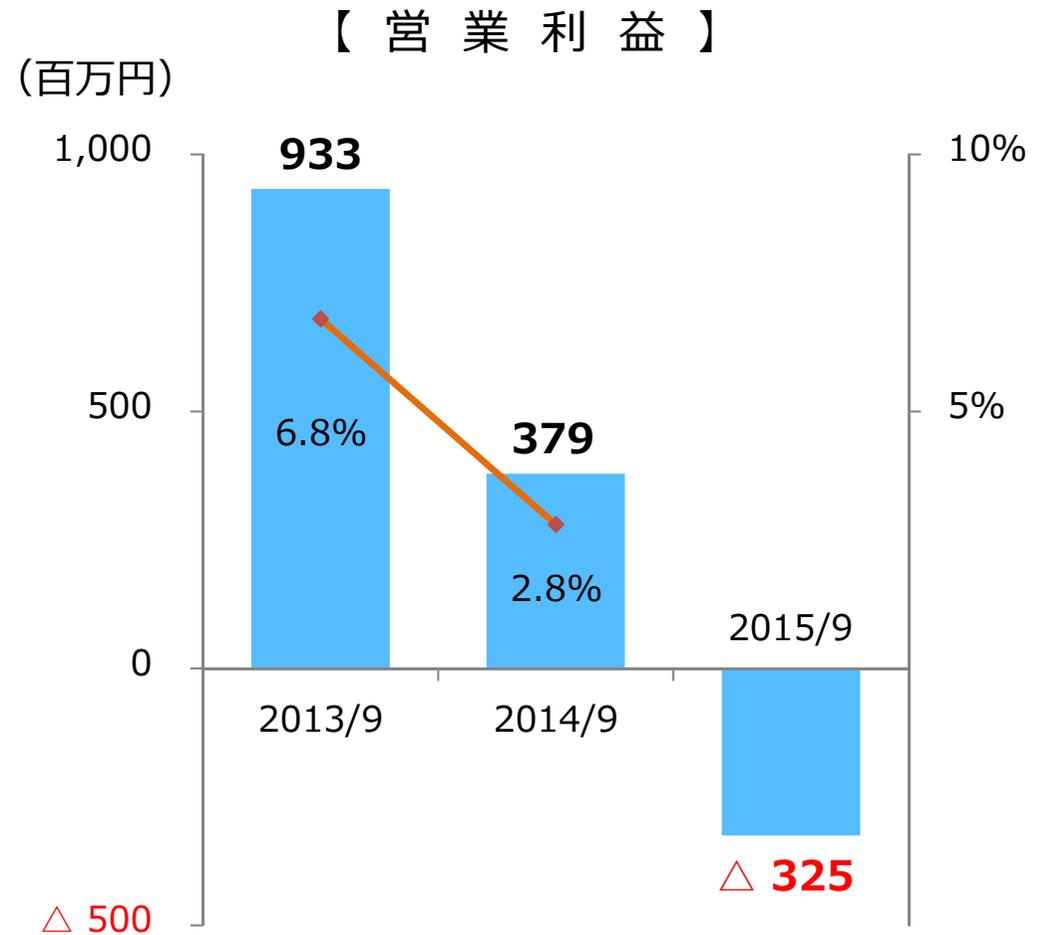
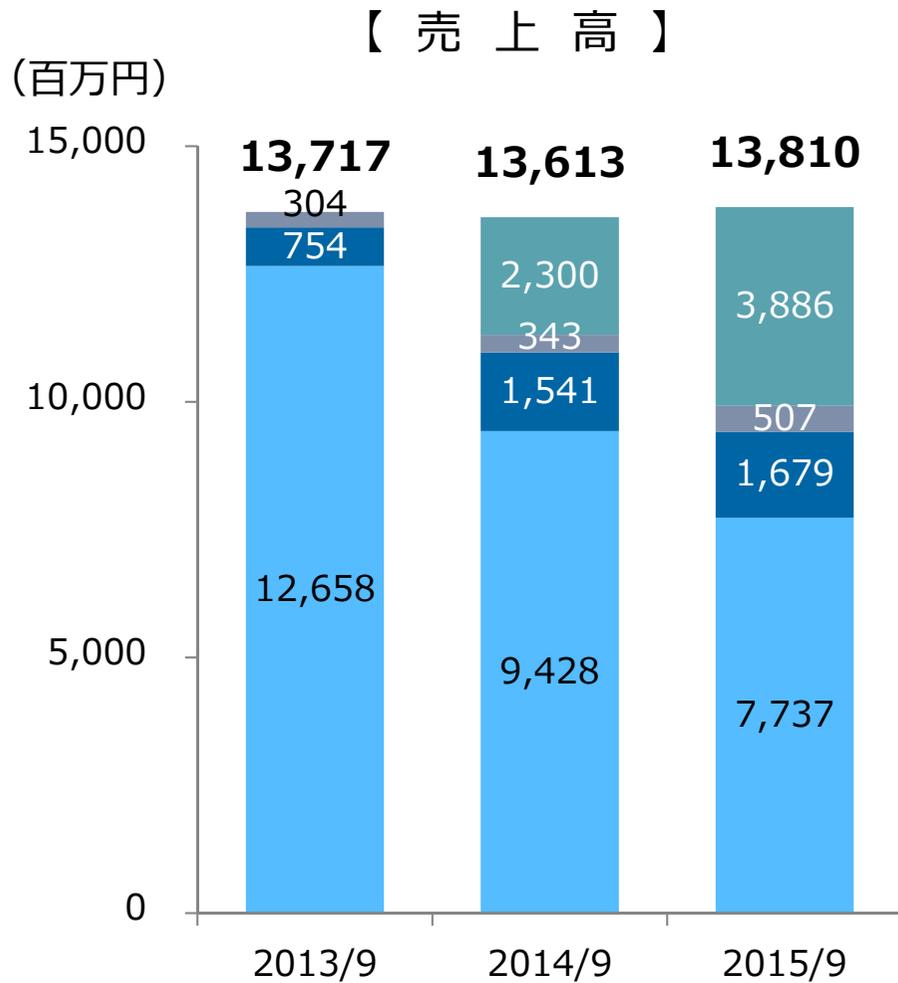


【営業利益】



グローバル開発案件や治験国内管理人業務等を拡大。分析化学サービス等の非臨床業務を強化中。モニタリング業務及びファーマコヴィジランス業務等における新規受注及び既存案件が堅調に進捗し、JCLバイオアッセイが加わったことにより売上高、営業利益が前年を上回る。

医薬品製造支援（CMO）事業

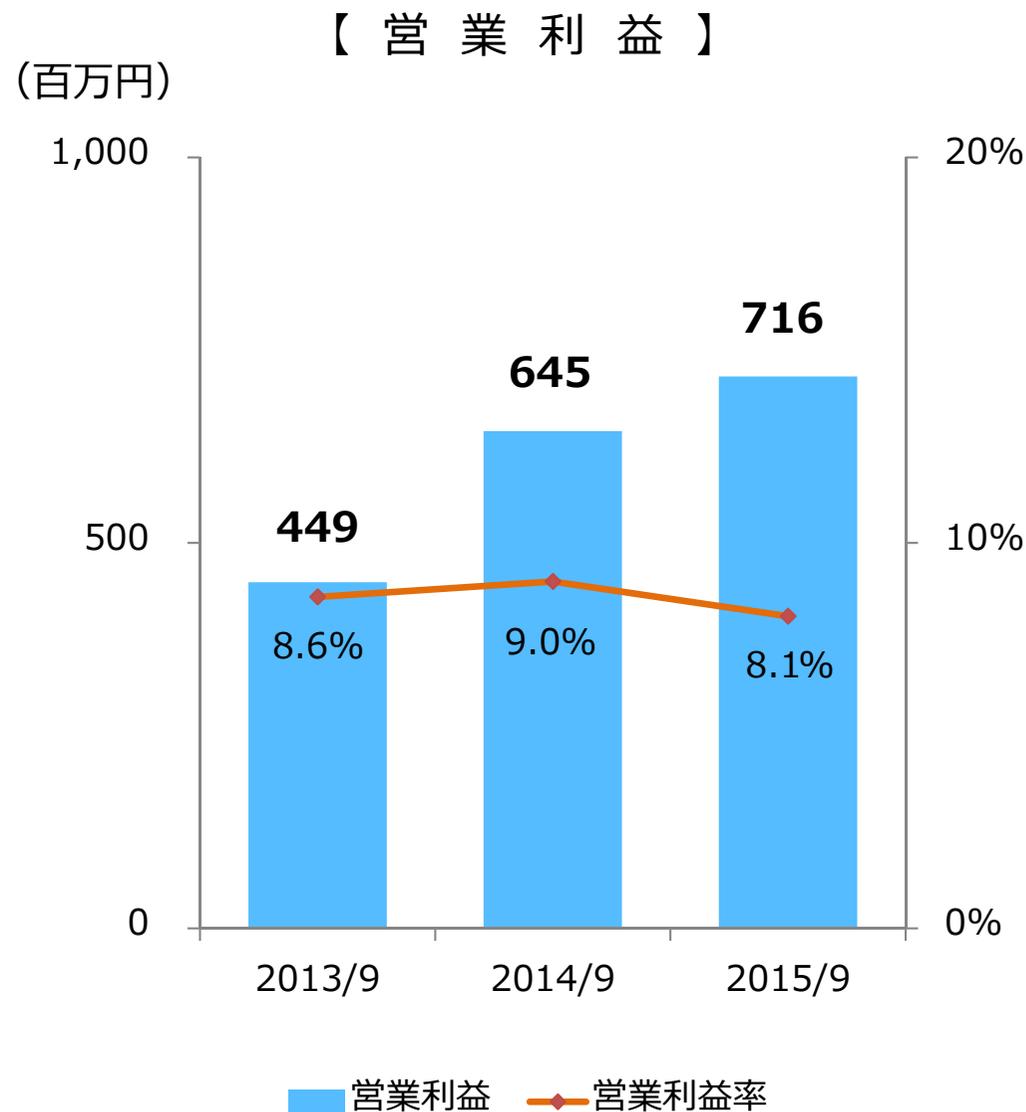
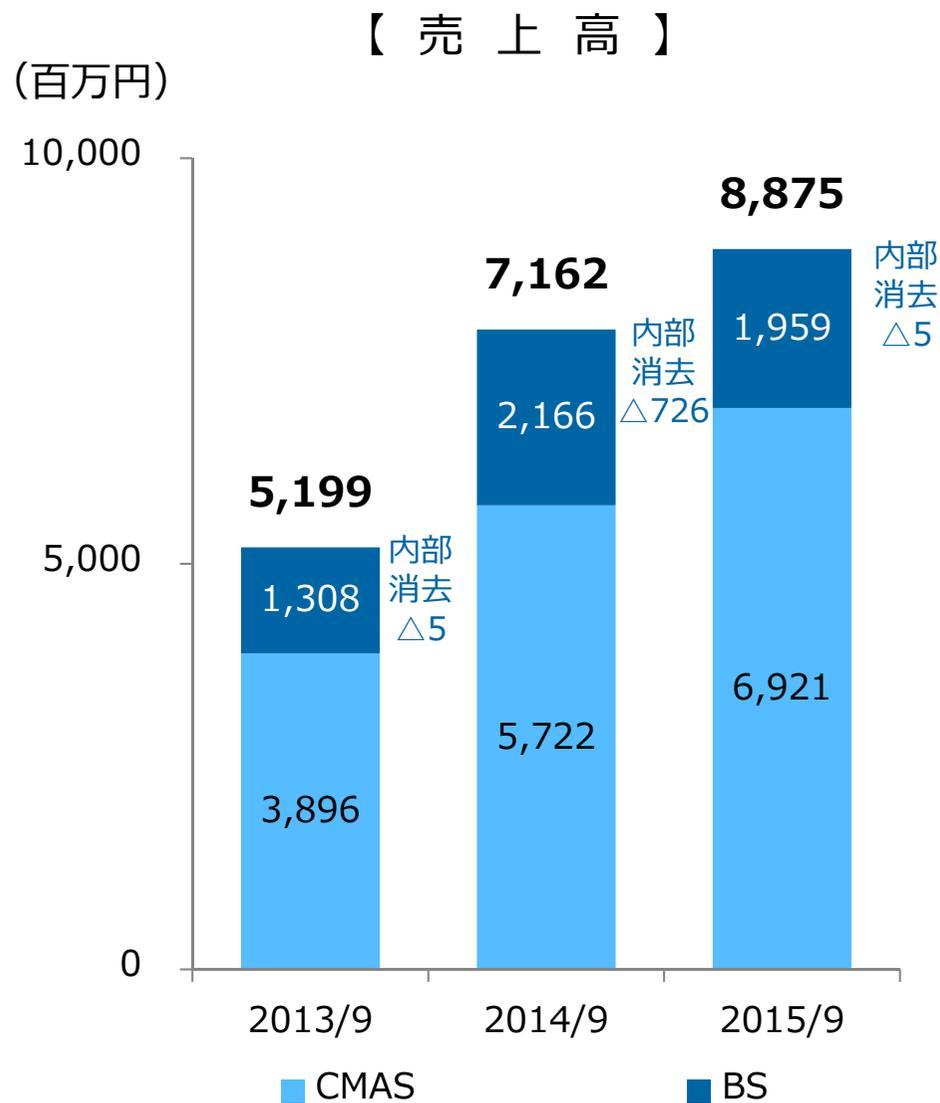


■ CMO (静岡・富山) ■ CCU (米国) ■ CCK (韓国) ■ 足利

■ 営業利益 —●— 営業利益率

構造改革の取り組みにより、価格競争力強化、営業体制強化を推進、案件の引き合いが増加傾向。シミックCMO足利が加わったこと等により、売上高は前年を上回るが、静岡の一部受託製品の生産終了に伴う生産量の減少等により営業損失を計上

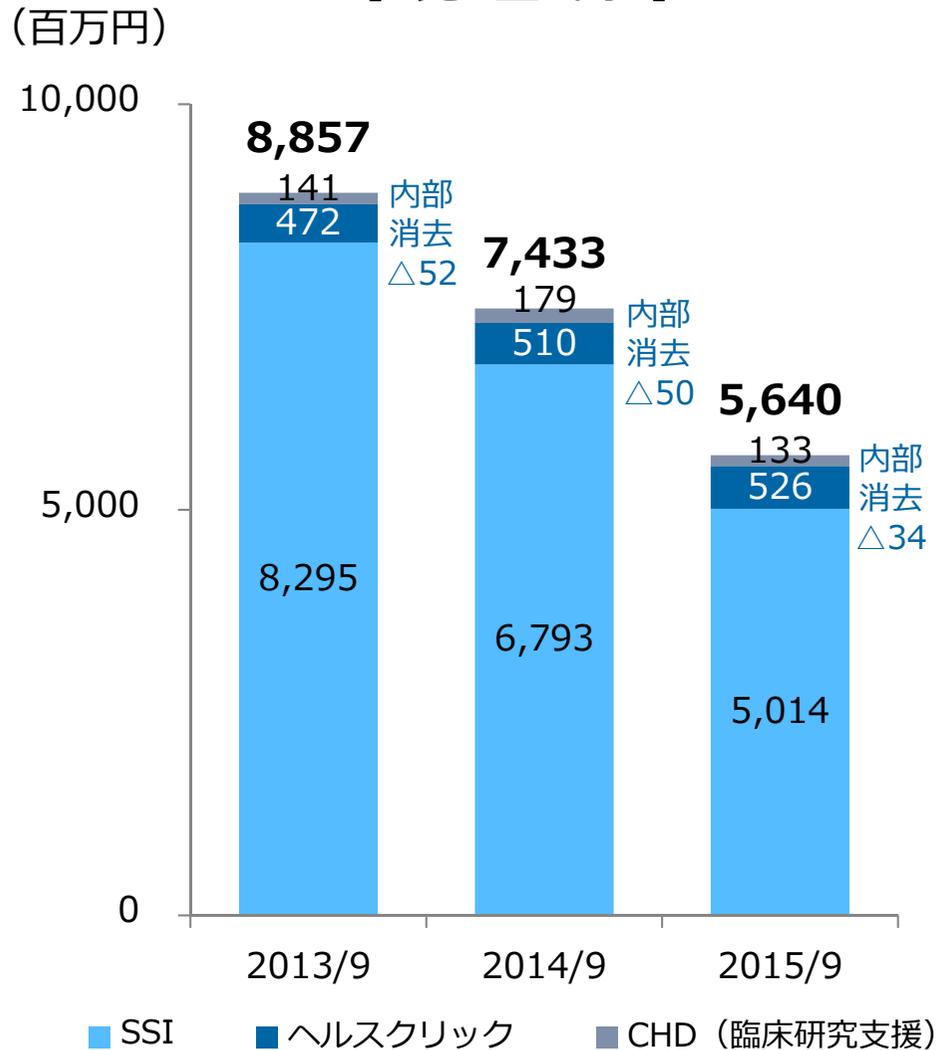
医薬品営業支援（CSO）事業



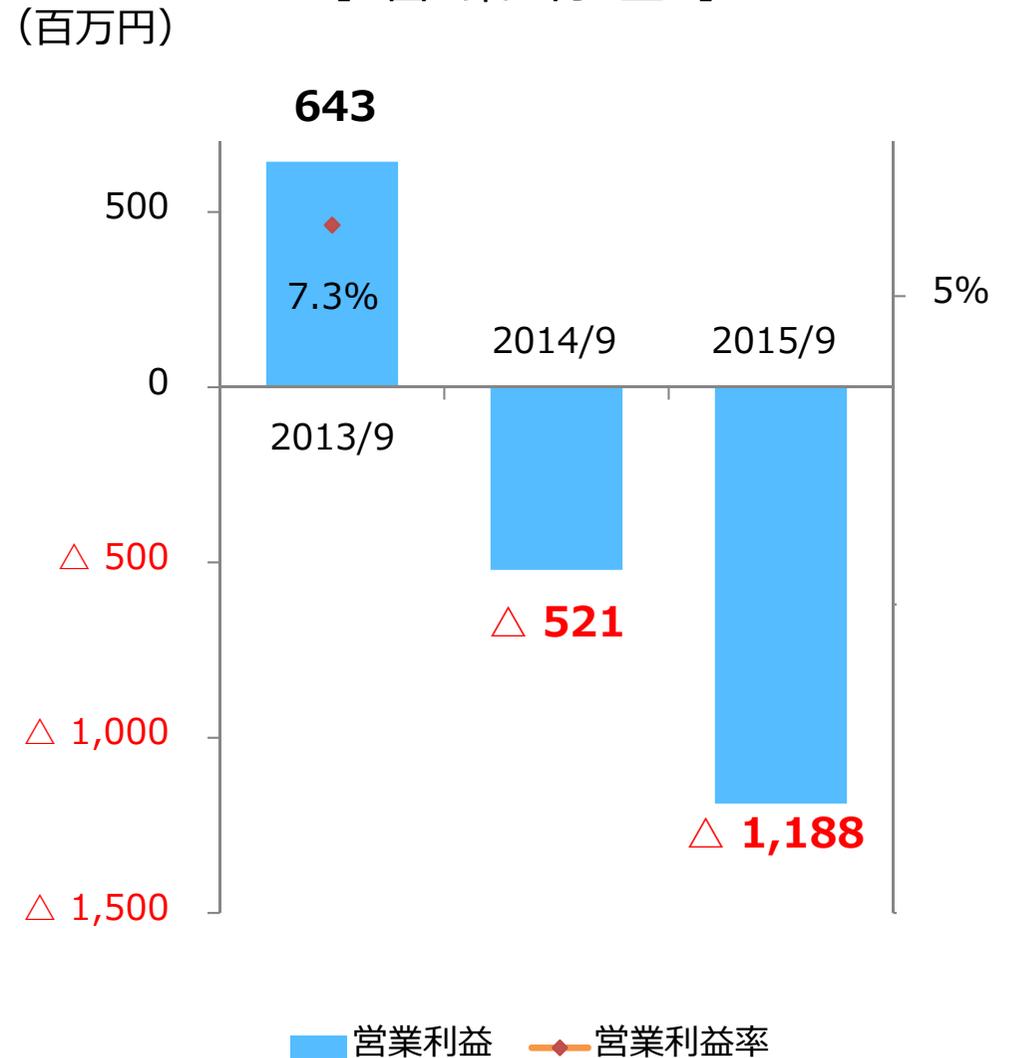
合併会社シミック・アッシュフィールドとして、受注力強化およびサービスモデル拡充に取り組む。MR派遣業務及びBPOサービスの既存案件が好調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る

ヘルスケア事業

【 売上高 】

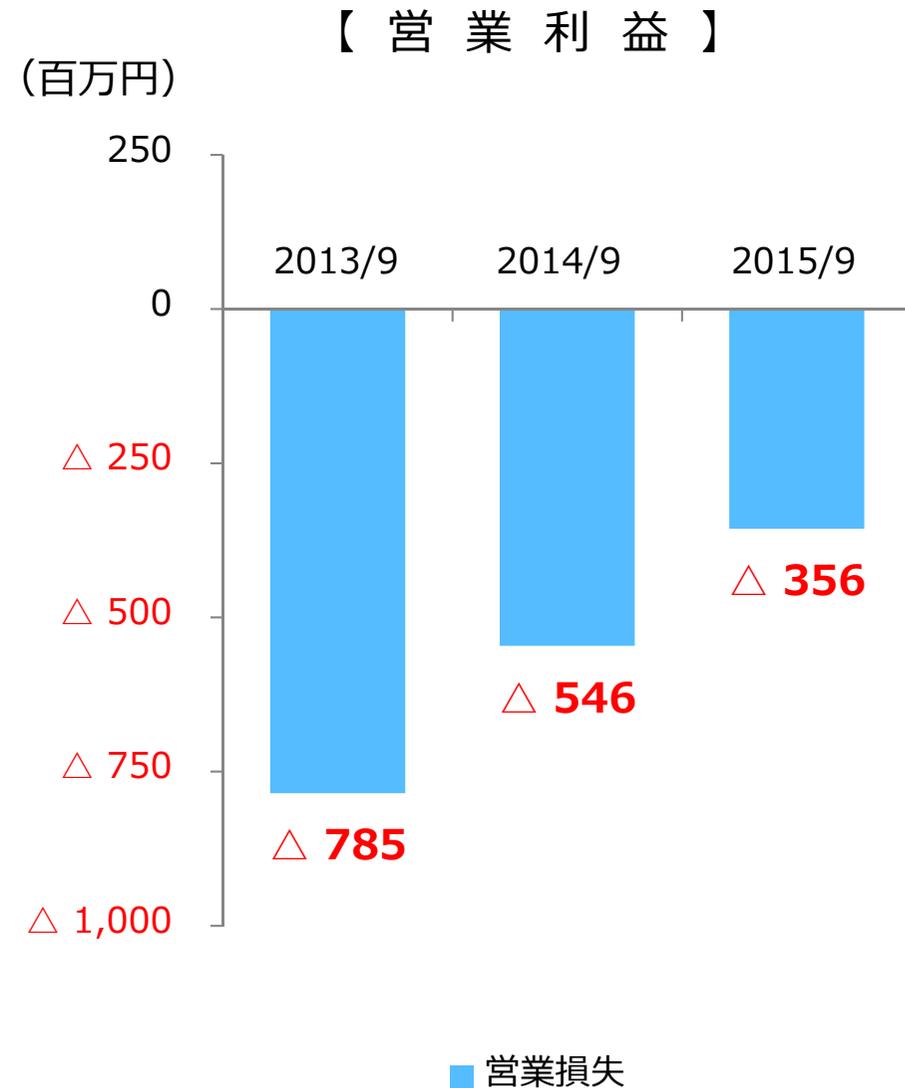
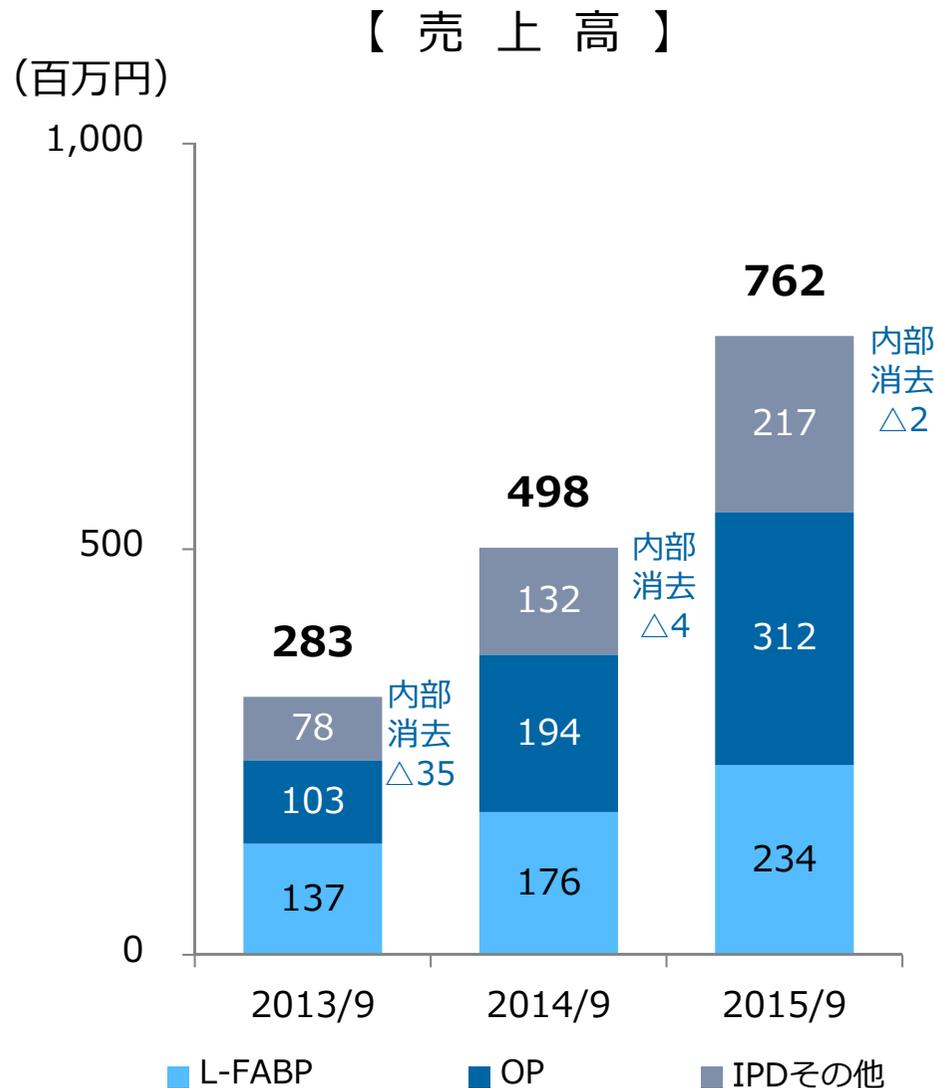


【 営業利益 】



営業活動の強化、医療機関ネットワーク拡大の推進など新規受注獲得に邁進、受注は回復傾向。プロジェクト管理の徹底、コスト削減の実施など、経営効率化のための施策を推進。前年の受注進捗の遅れが影響し、売上高が前年を下回り、稼働率低下等により引き続き営業損失を計上

知的財産開発（IPD）事業

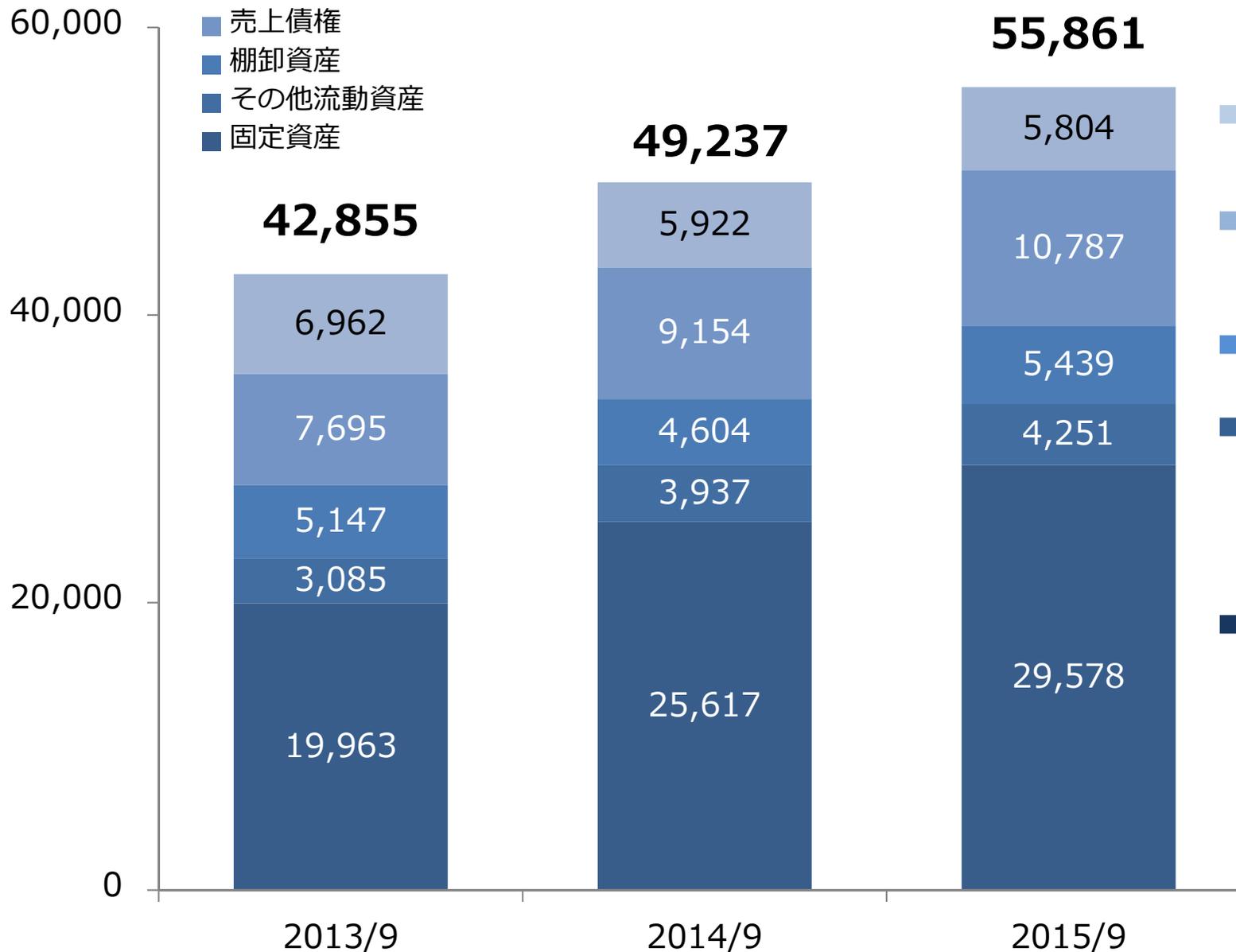


診断薬は簡易検査（Dip-test）キットの開発に取り組む
 製薬企業とオーファンドラッグ等 3 製品の製造販売承認の承継契約を締結し、1 製品の販売を開始。
 また製薬企業の共同販促型業務提携を実施するなど、売上高の拡大を図る
 研究開発費および希少疾病用医薬品の販売コスト削減に取り組む

貸借対照表（資産の部）

(百万円)
60,000

- 現預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産

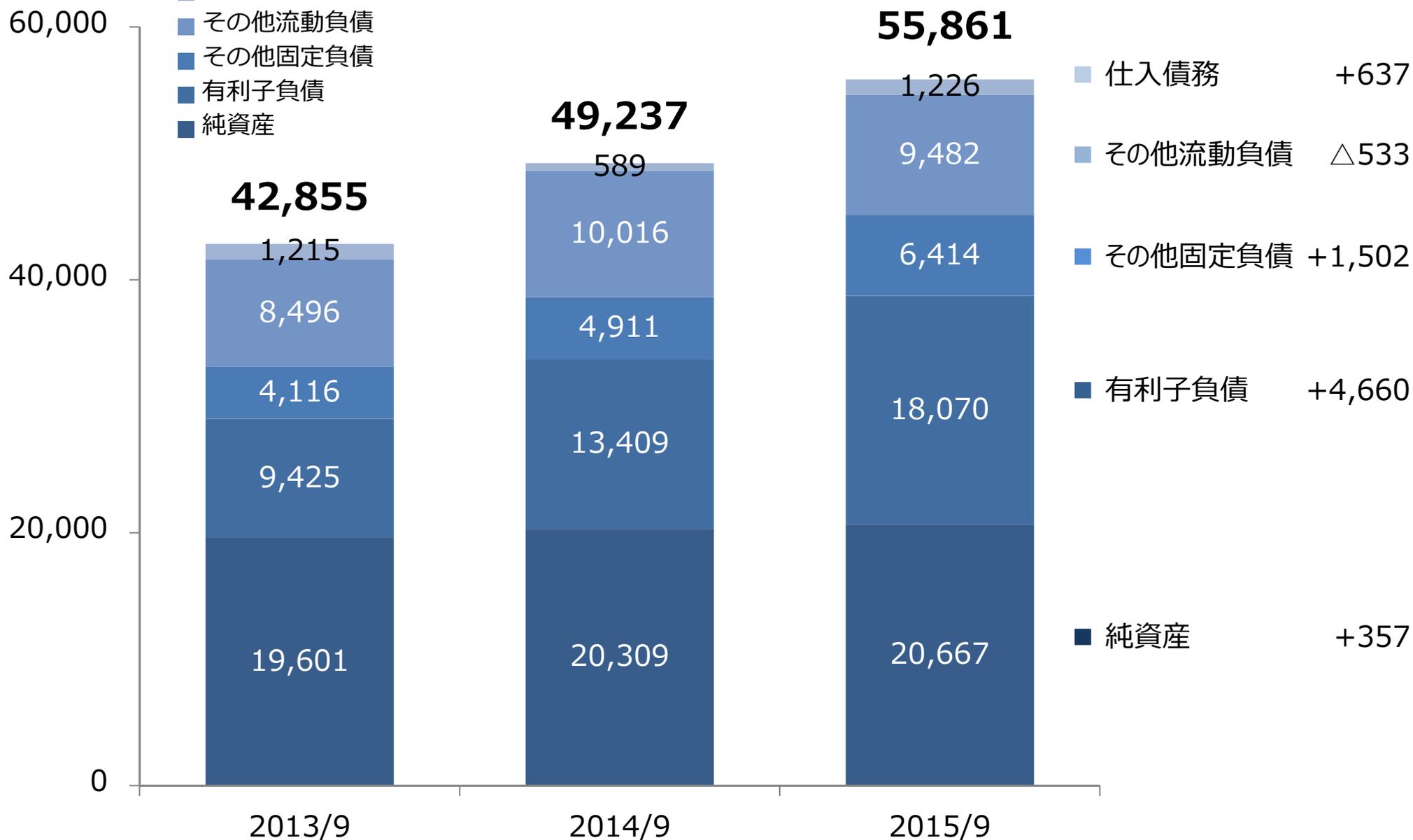


総資産	+6,624
現預金	△118
売上債権	+1,632
棚卸資産	+834
その他流動資産	+314
固定資産	+3,960

貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)
60,000

- 仕入債務
- その他流動負債
- その他固定負債
- 有利子負債
- 純資産



キャッシュ・フロー

(百万円)

	2014/9	2015/9	増 減
営業活動によるCF	2,677	889	△1,787
投資活動によるCF	△6,910	△3,461	3,449
財務活動によるCF	3,111	1,904	△1,206
現金及び現金同等物の換算差額	64	21	△43
現金及び現金同等物の増減額	△1,058	△646	411
現金及び現金同等物の期首残高	6,810	5,751	△1,058
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	—	533	533
現金及び現金同等物の期末残高	5,751	5,638	△113

(営業活動によるCF)

・税金等調整前純利益および減価償却による収入 ・売上債権の増加および法人税等の支払による支出

(投資活動によるCF)

・有形・無形固定資産および投資有価証券取得による支出 ・関係会社株式の売却による収入

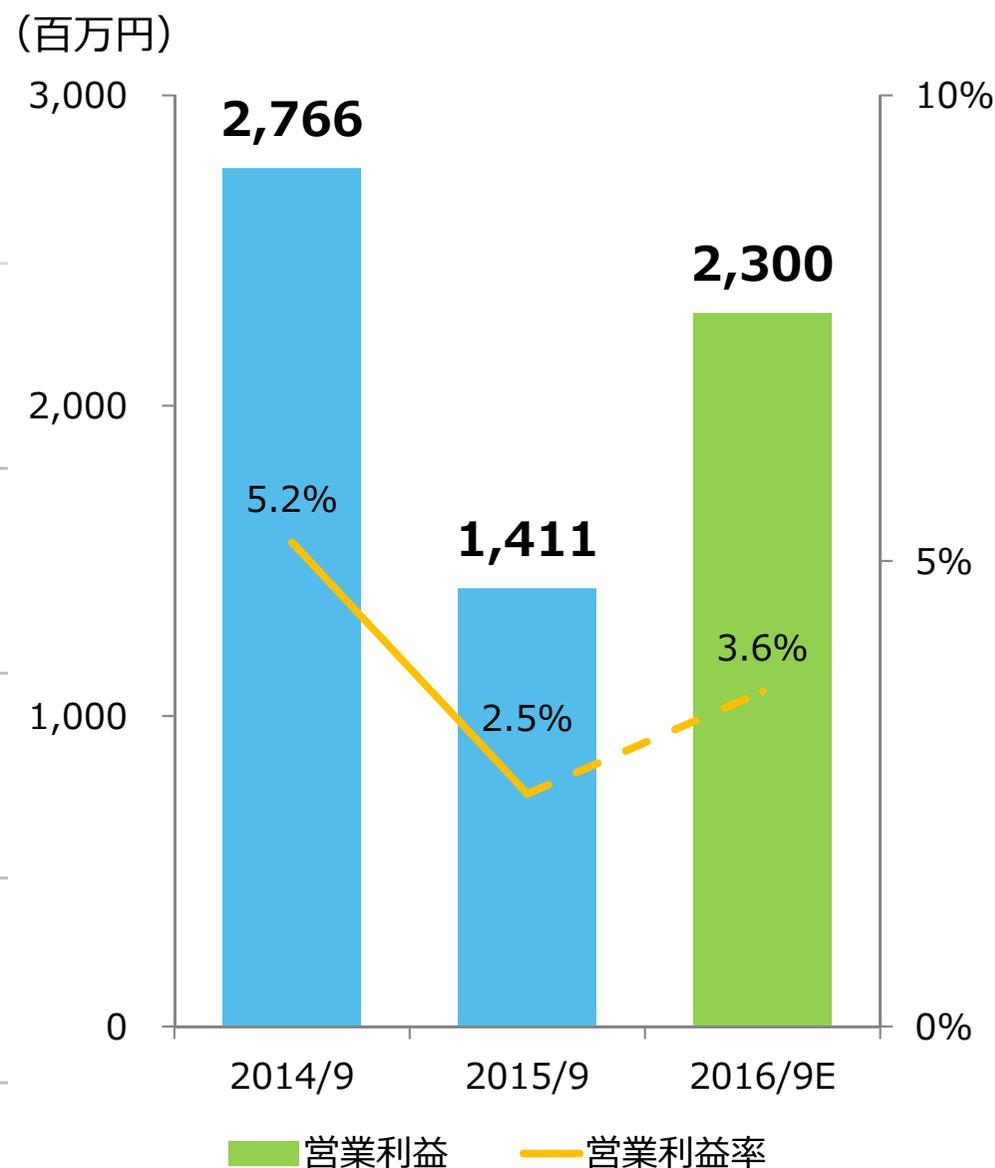
(財務活動によるCF)

・金融機関からの長期借入およびコマーシャルペーパーの発行による収入
 ・長期借入金の返済及び配当金の支払いによる支出

2016年9月期 業績見通し

2016年9月期 通期見通し

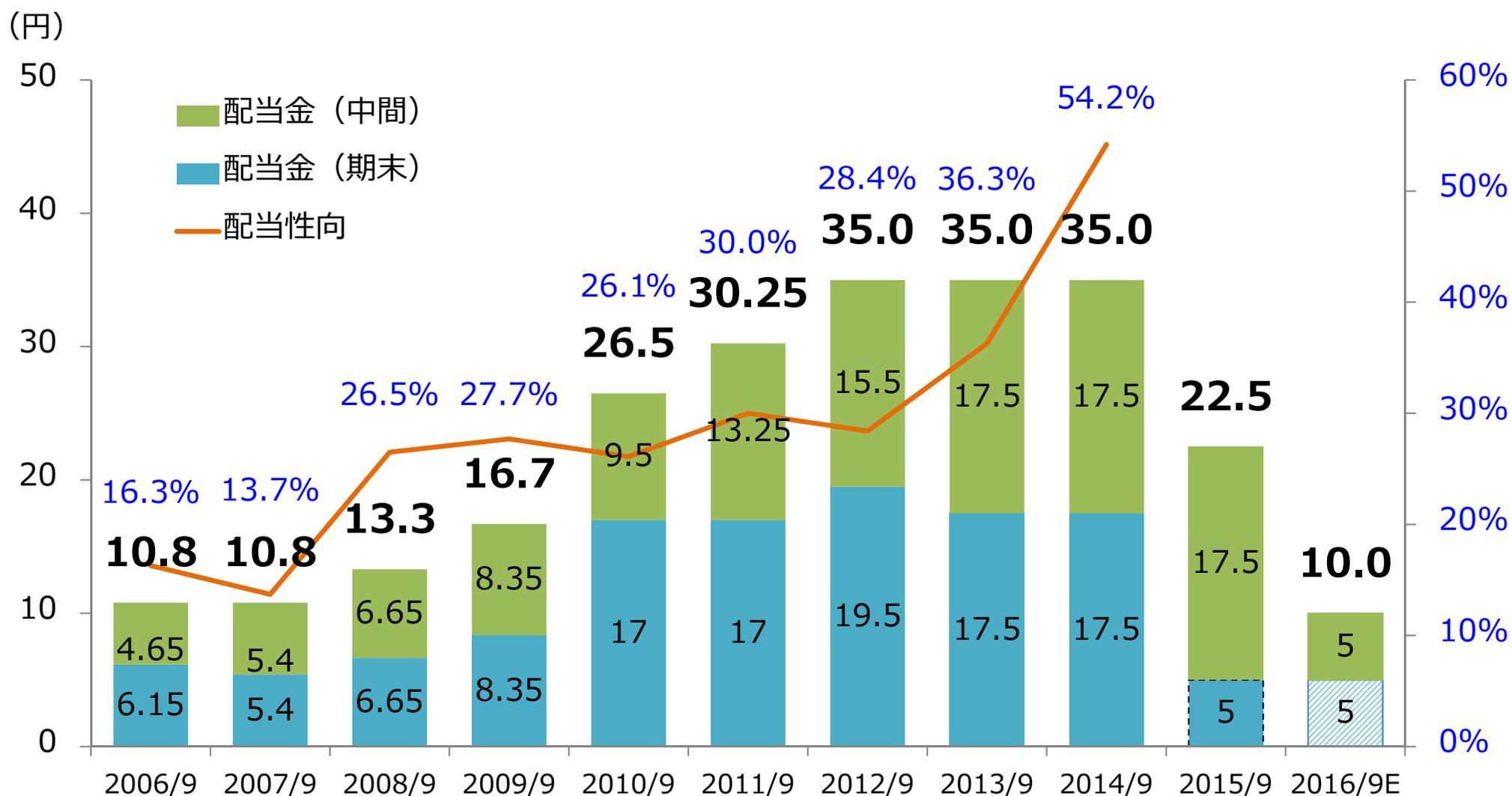
	2015/9 実績 (百万円)	2016/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	55,904	63,200	+13.0
営業利益	1,411	2,300	+62.9
経常利益	970	1,960	+101.9
当期純利益	△542	400	—



2016年9月期通期見通し (セグメント別)

		2015/9 実績	2016/9 見通し	増減額 (百万円)	増減率 (%)
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
C R O 事業	売上高	27,471	30,000	2,528	+9.2
	営業利益	5,092	4,900	△192	△3.8
C M O 事業	売上高	13,810	14,900	1,089	+7.9
	営業利益	△325	350	675	—
C S O 事業	売上高	8,875	10,300	1,424	+16.1
	営業利益	716	750	33	+4.6
ヘルスケア事業	売上高	5,640	6,300	659	+11.7
	営業利益	△1,188	△200	988	—
I P D 事業	売上高	762	2,500	1,737	+228.0
	営業利益	△356	△400	△43	—
調 整 額	売上高	△656	△800	△143	—
	営業利益	△2,526	△3,100	△573	—
合 計	売上高	55,904	63,200	7,295	+13.0
	営業利益	1,411	2,300	888	+62.9

(ご参考) 配当金の推移 (1株当たり配当金)



※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。
 上記のグラフでは当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の配当状況を記載しております。



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

シミックグループの事業戦略

代表取締役CEO 中村 和男

目次

- ◆CMICの概要
- ◆Project Phoenixの進捗と今後の展望
 - ▶ CMO事業
 - ▶ SMO業務
 - ▶ Orphan Drug
 - ▶ CSO事業
 - ▶ CRO事業
- ◆ソリューションビジネスのさらなる進化に向けて

CMICの概要

CMIC独自の事業モデル（PVC）

CSO事業

(Contract Sales Organization)

医薬品マーケティング・営業を
支援する事業

ヘルスケア事業

(Healthcare)

医療機関、患者、一般消費者を
対象とした事業

Pharmaceutical Value Creator

個々の事業で得たノウハウや知識を活用し
製薬企業のストラテジックパートナーへ

CMO事業

(Contract Manufacturing Organization)

医薬品製造を支援する事業

IPD事業

(Intellectual Property Development)

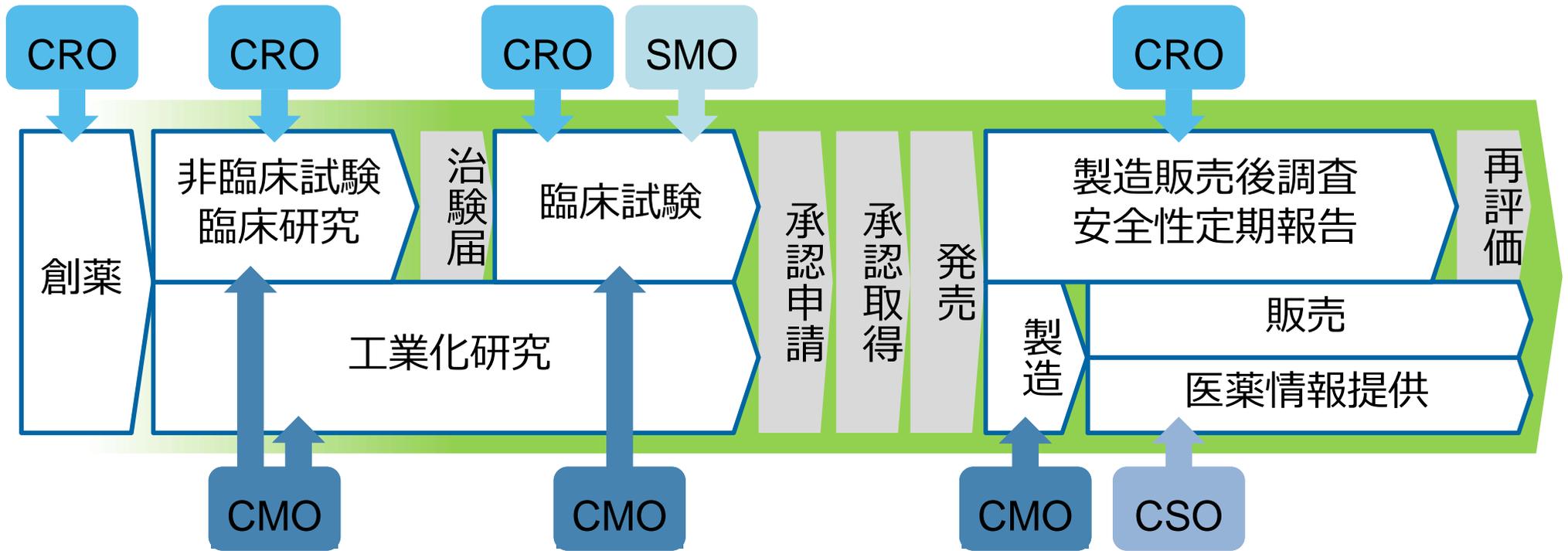
自社で知的財産を開発する事業

CRO事業

(Contract Research Organization)

医薬品開発を支援する事業

製薬企業のバリューチェーンを総合的に支援



IPD

自社で知的財産を開発する事業

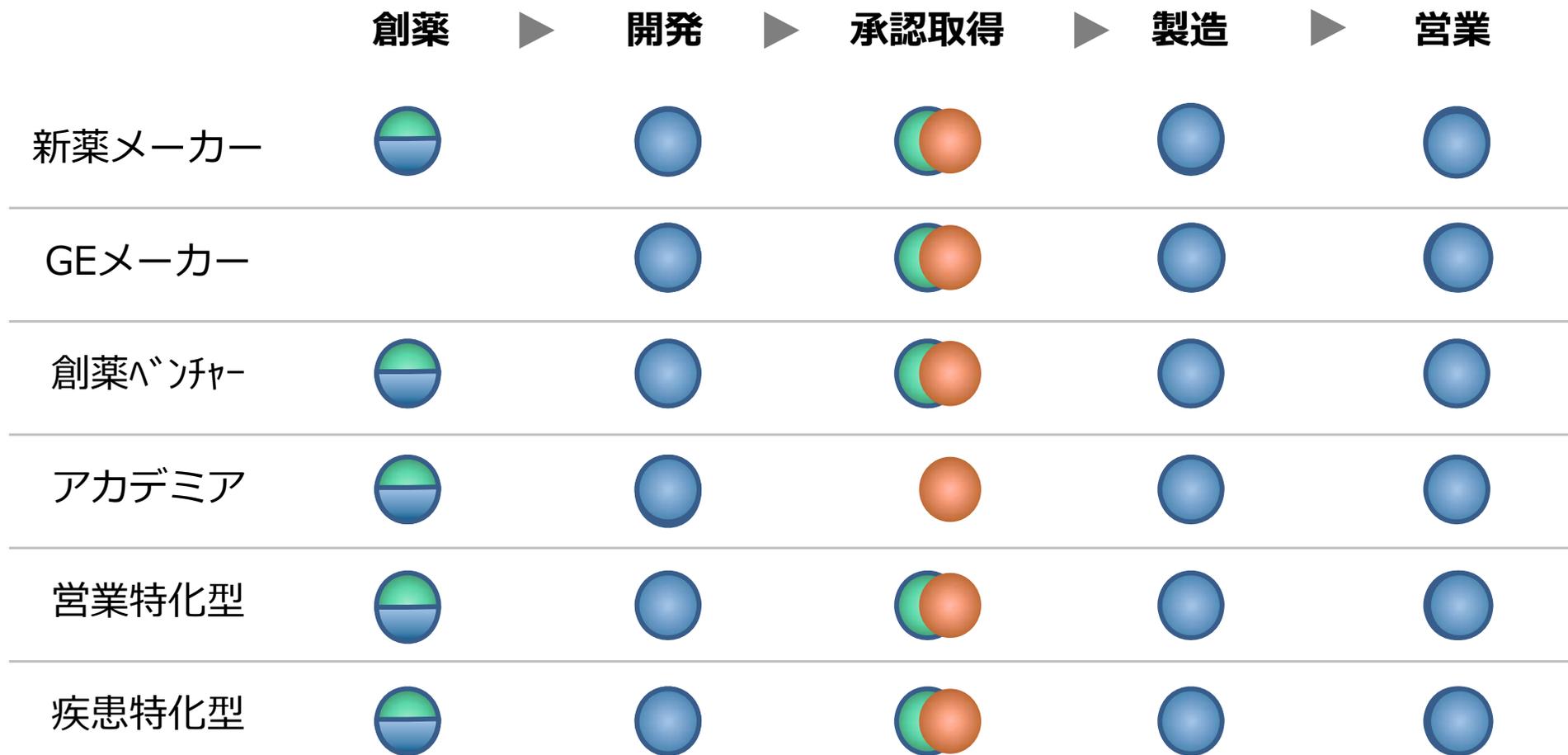
診断薬「レナプロ®L-FABPテスト」、希少疾病用医薬品の開発製造販売

HC

個人のヘルスバリューを高める事業

健康情報サービス、コールセンター業務

CMICのビジネスモデルの強み

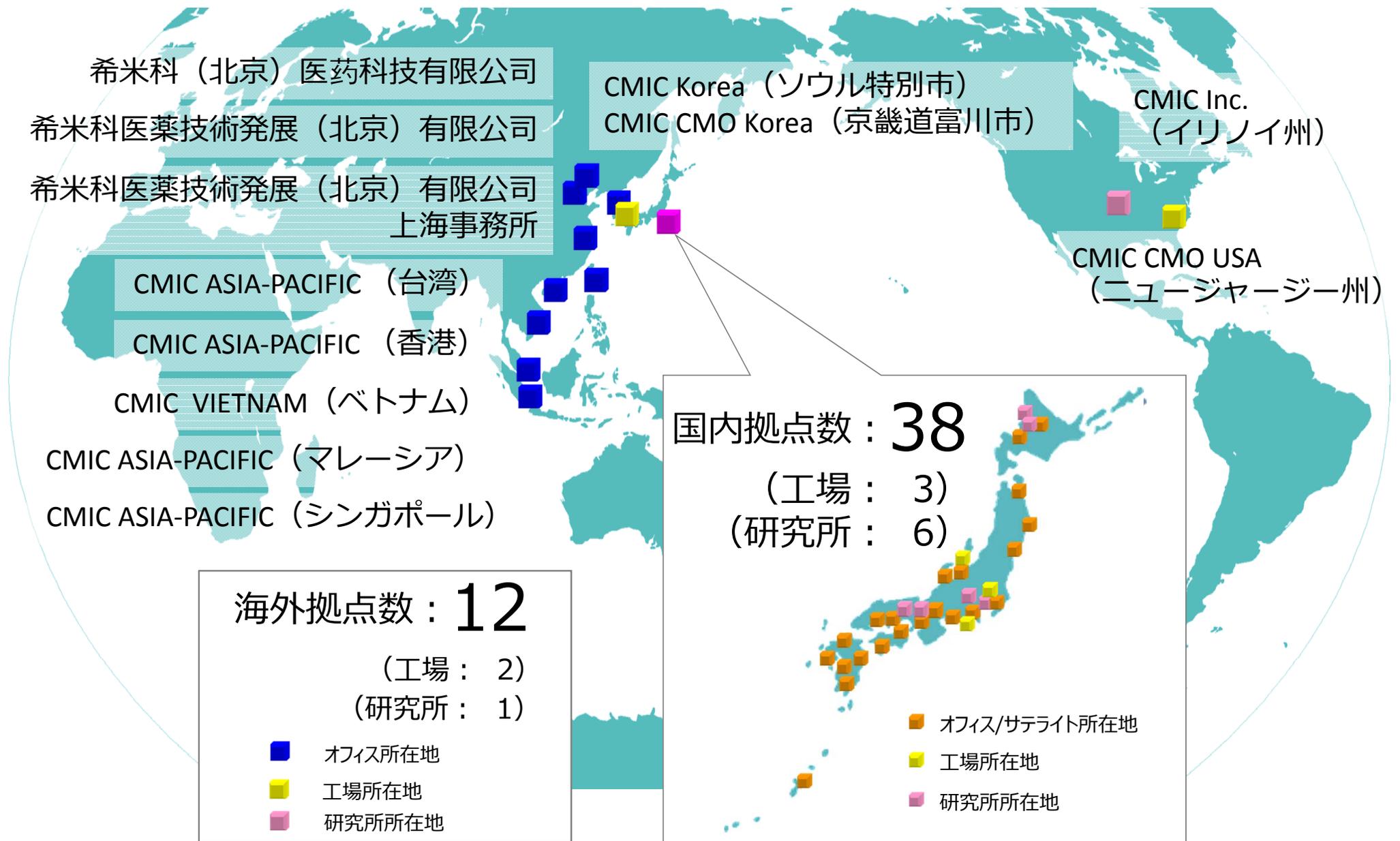


 CMICが受託可能な業務

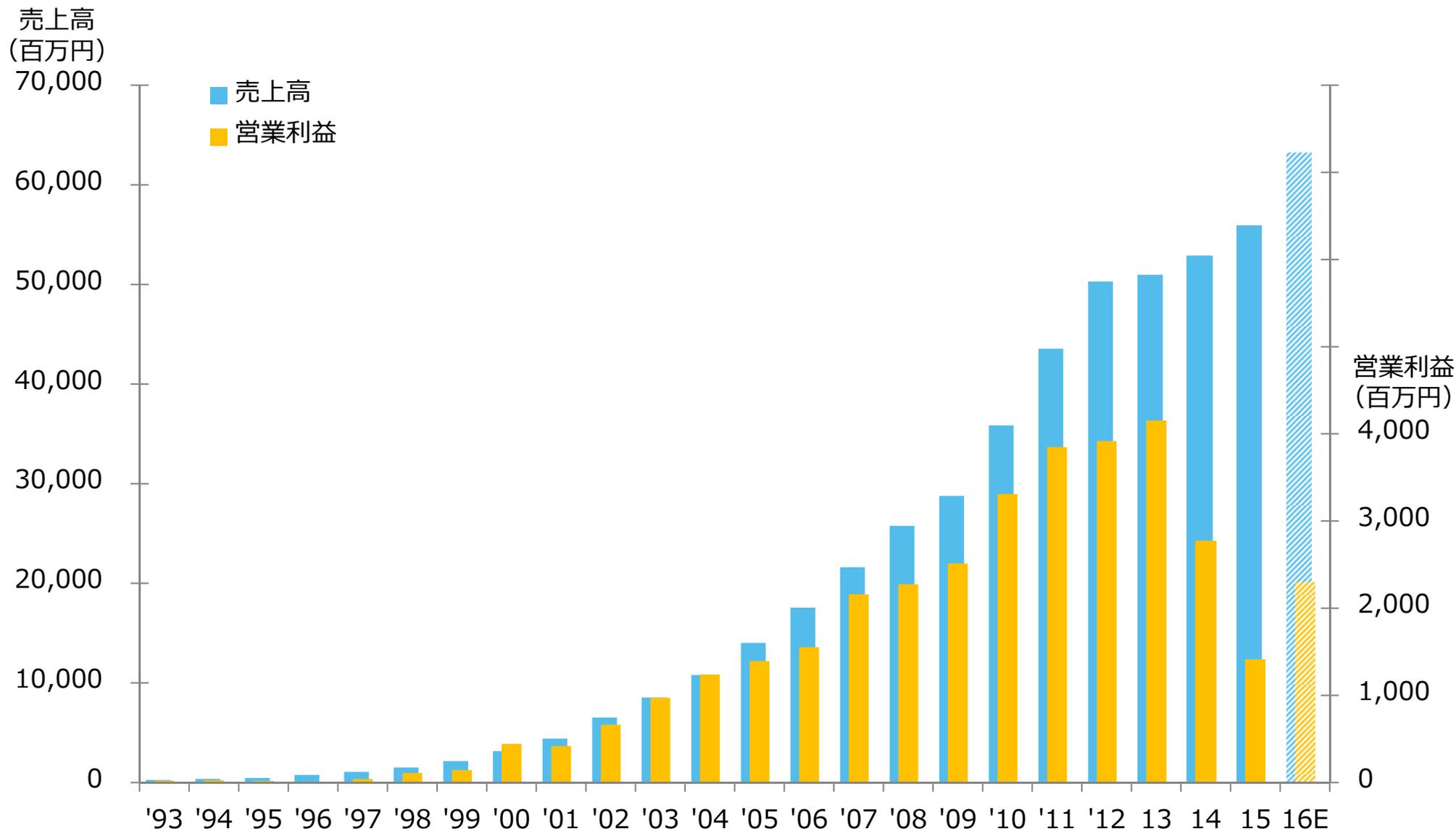
 CMICがMAHとして承認取得することも可能

* MAH (Marketing Approval Holder) : 日本で製造販売承認を取得・保有し、品質保証・安全管理等の業務を行う企業

シミックグループのエリア展開



売上高と営業利益の推移



CMO事業の売上高減少
SMO業務の受注不振
(一部業務での価格競争の激化)



2015年9月期より
「Project Phoenix」を開始



Project Phoenixの 進捗と今後の展望

Project Phoenix

2016年9月期業績のV字回復、
収益の伴った成長を実現するために

Phoenix 1.0

- ◆赤字事業の解消、コスト構造の改革

Phoenix 2.0

- ◆PVCモデルならではのソリューション提供

Phoenix 3.0

- ◆更なる成長に向けたビジネスモデルの進化

Project Phoenix 1.0の進捗

■赤字事業の解消	当初目標	修正目標
CMO事業	2016年9月期	2016年9月期
SMO業務		2017年9月期
Orphan Drug		2017年9月期

Project Phoenix

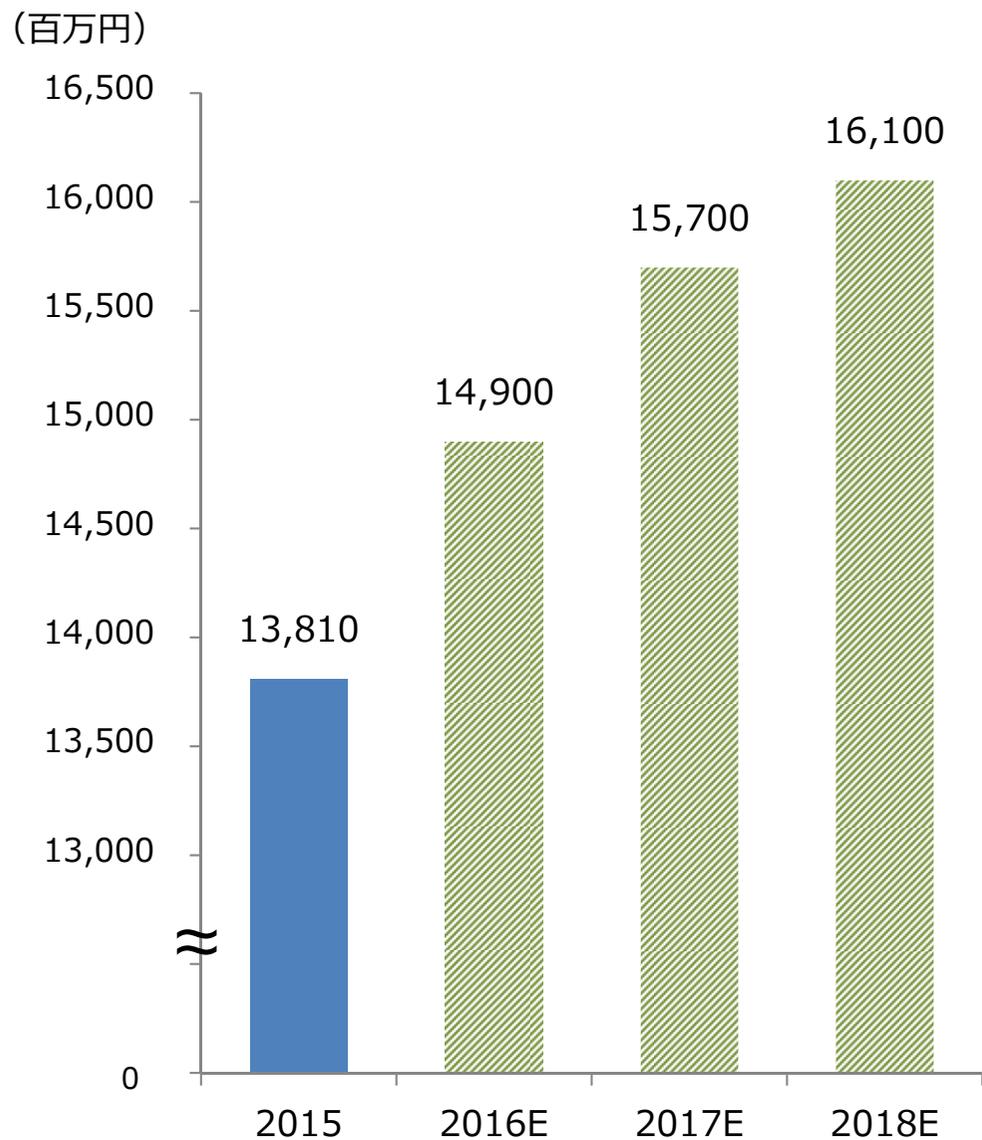


CMO

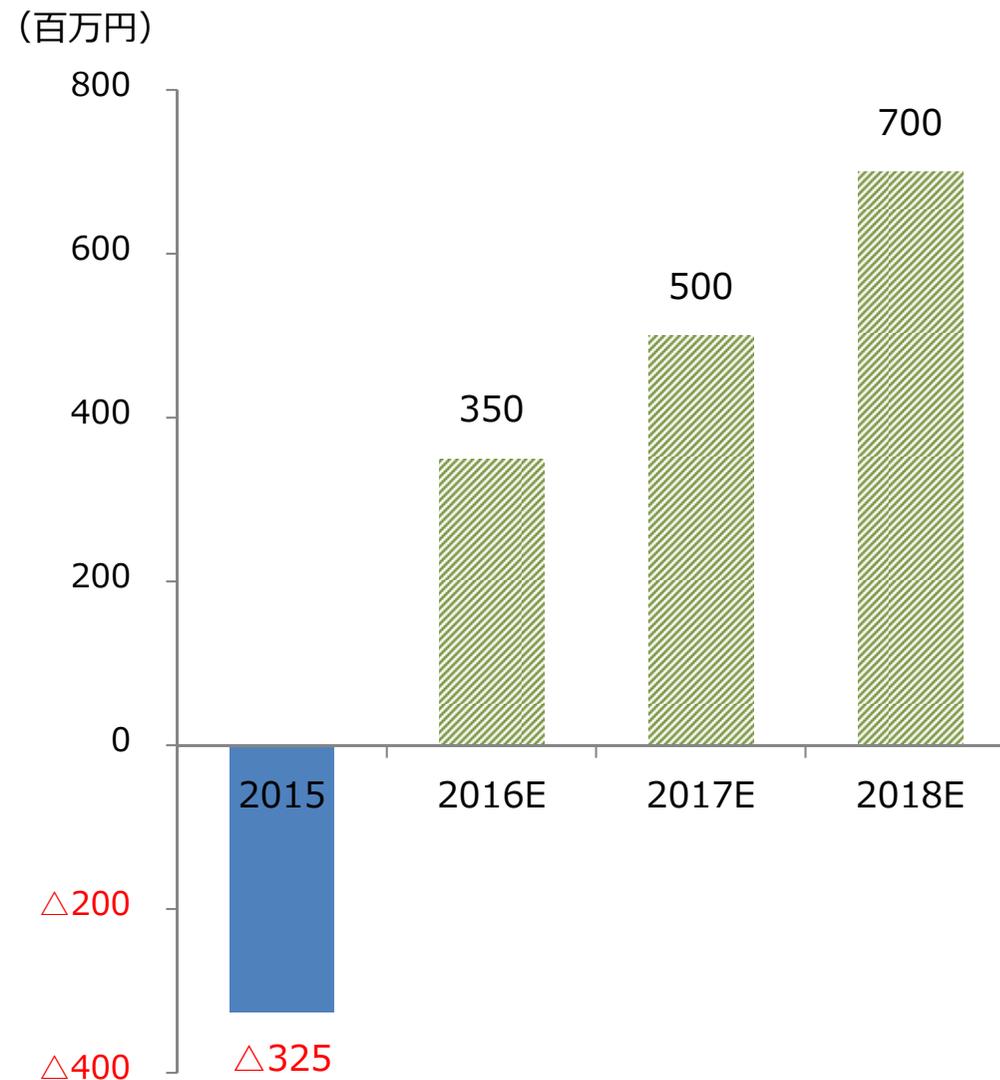
医薬品製造支援事業

売上・営業利益の見通し【CMO事業】

【売上高】



【営業利益】



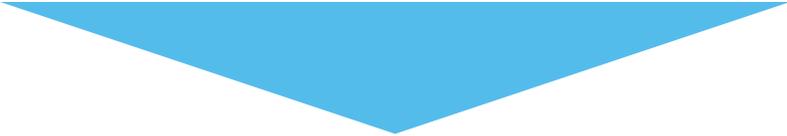
CMO事業における取り組み

サービス業に適した構造改革
工場生産性向上

BD活動の強化

戦略的な設備投資
技術力の向上

グローバル展開



2016年9月期黒字化見込み

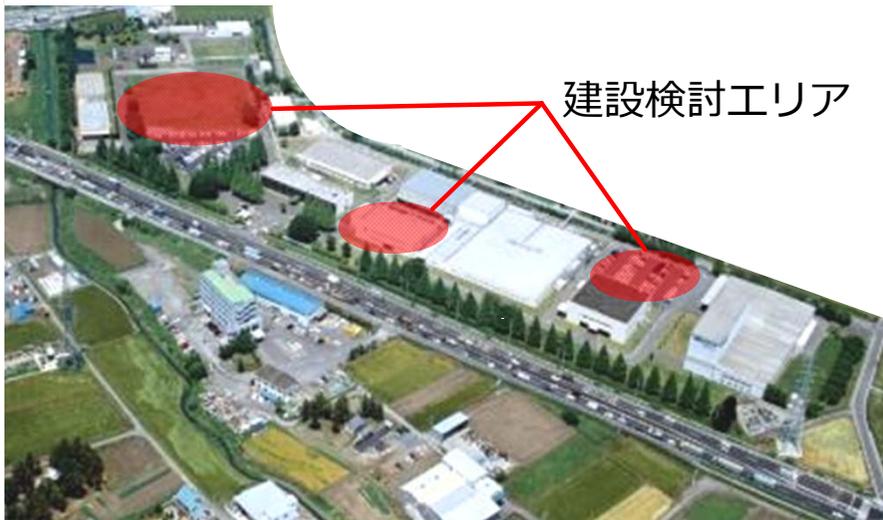
「Project Phoenix」での取り組みを
さらに強化・発展させていく

CMO事業の中期目標

- ◆ 戦略的な設備投資により、日本でCMOのNo.1を目指す
- ◆ 売上高200億円、営業利益20億円を2020年9月期に達成する

主なアクション

◆ 新注射剤棟建設（足利）



- ◆ 高薬理活性製剤を取り扱うための人材の確保・育成
- ◆ 継続的なコスト削減
- ◆ 品目再配置による生産性の向上と工場間シナジーの創出
- ◆ UDGヘルスケアグループとの新たな事業提携

CMO国内拠点の将来構想

	現 状	中長期アクション	将 来 構 想
足 利	固形剤：製剤・包装 (錠・散) 注射剤：製剤・包装	注射剤新棟建設 (2016年～)	注射剤 (高薬理活性対応) 固形剤も対応 (大量生産品中心)
静 岡	固形剤：製剤・包装 (錠・CP・散) 注射剤：包装	静岡・足利工場間 品目移管 (2016年～)	固形剤 (高薬理活性対応) (少量多品種対応) 固形剤技術の マザー工場
富 山	半固形剤：製剤・包装	高薬理活性 対応製造棟建設 (2020年以降)	半固形剤 (高薬理活性対応)

製剤開発センター：製剤技術開発の中核（固形剤から全剤形へ拡大）

抗体、バイオ医薬への挑戦：シミックJSRバイオロジックスの設立、KBIへの出資

Project Phoenix

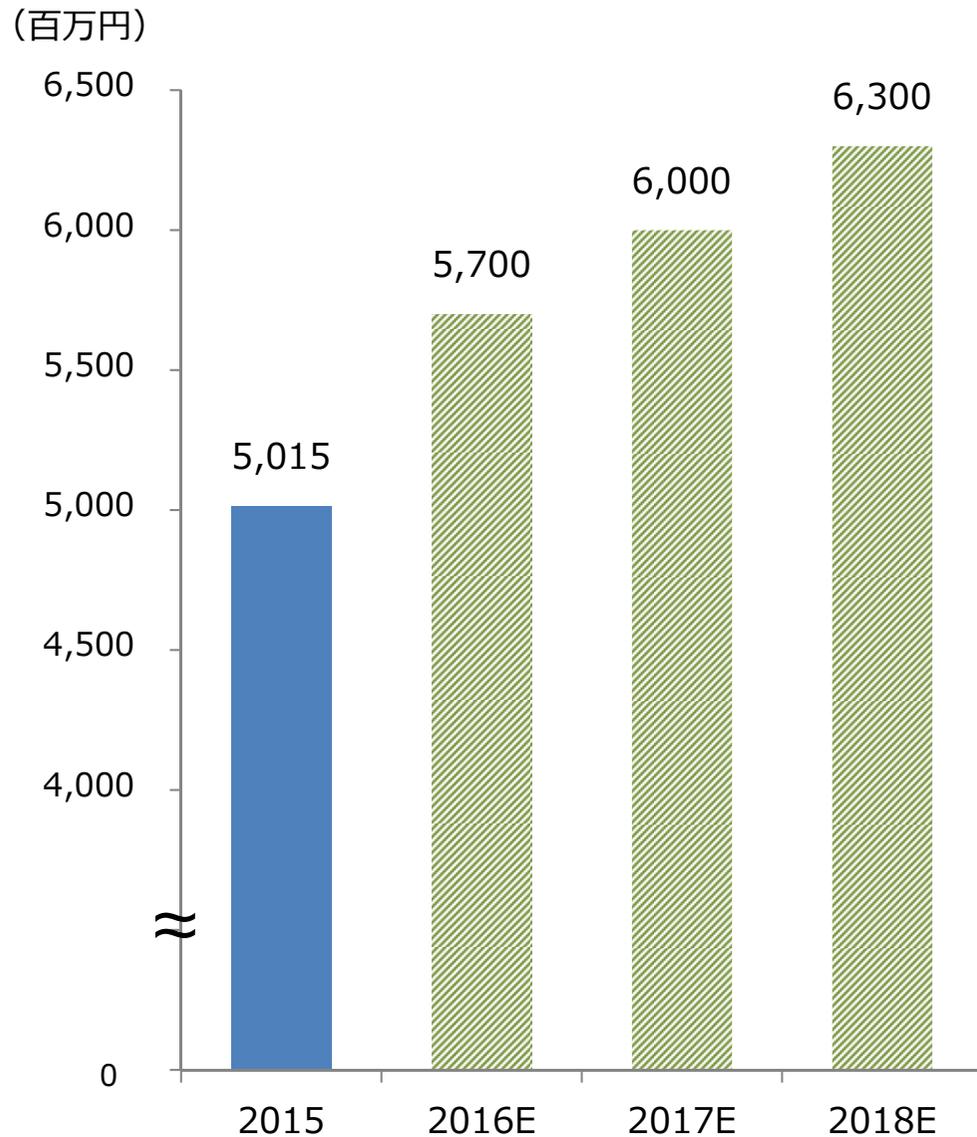


SMO

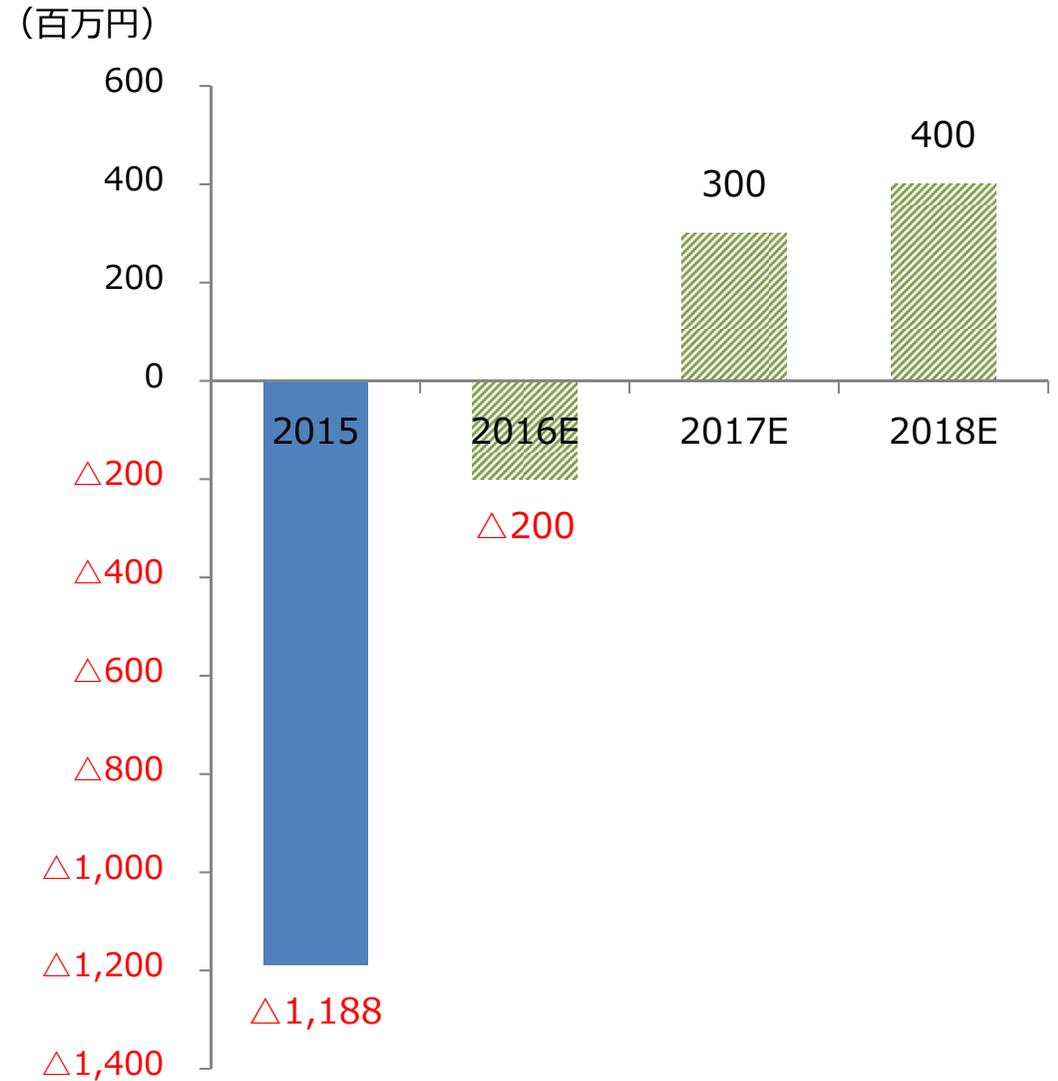
治験施設支援業務

売上および営業利益の見通し【SSI】

【売上高】



【営業利益】



SMO業務における取り組み

実行力・信頼性向上 に向けた育成／制度

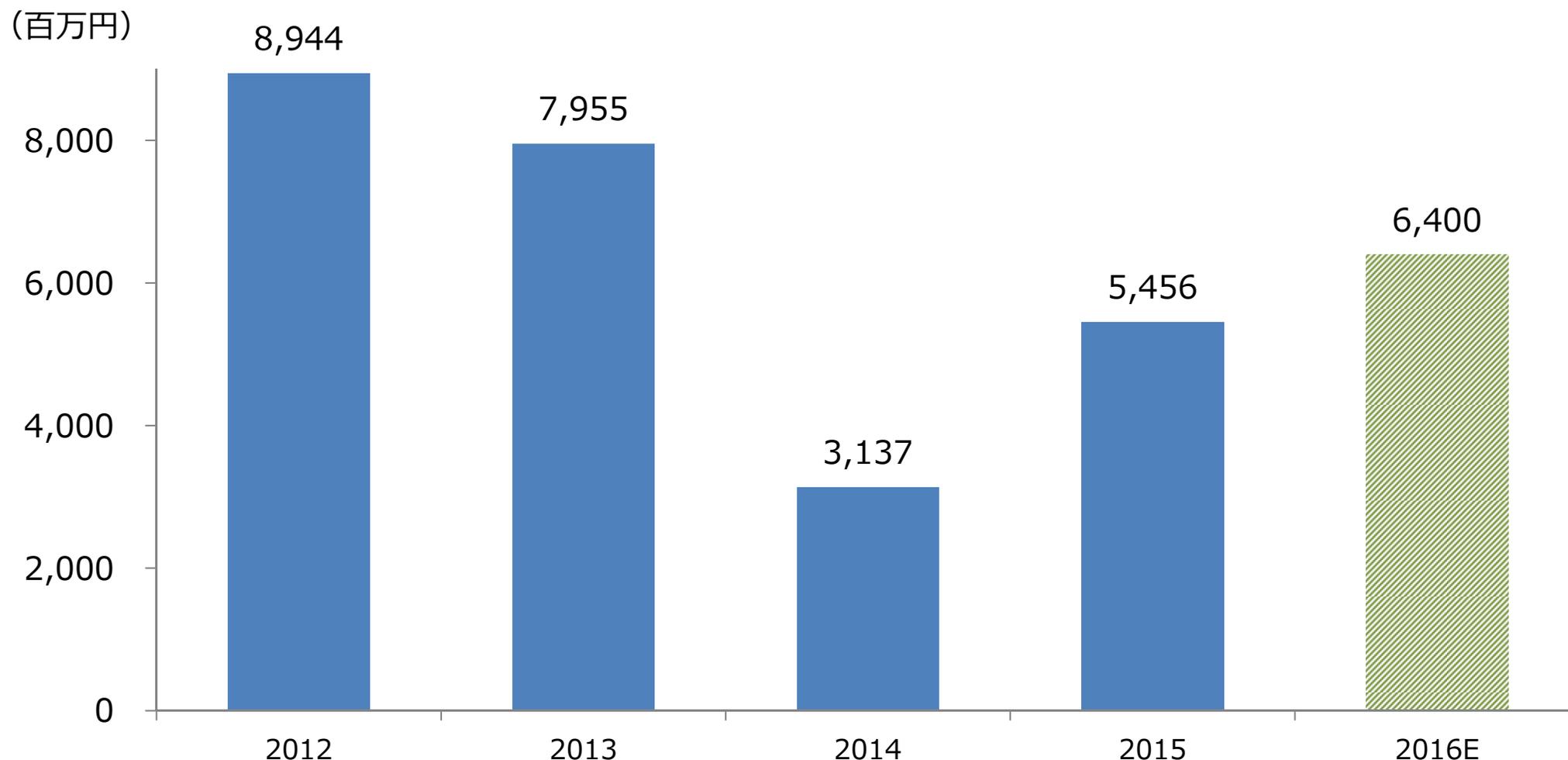
- ▶ 推進リーダーによるコンプライアンス徹底
- ▶ 現場スタッフのサービス品質トレーニング
- ▶ 専門性（医薬・医療・GCP）強化
- ▶ 症例進捗管理体制の強化

営業力／コミュニケーション の強化

- ▶ 施設当たり契約症例数向上
 - ・優良施設とのリレーション強化
 - ・新規施設開拓
 - ・施設選定責任者の設置
- ▶ クライアントとの関係強化
- ▶ 提案力の向上

差別化・優位性 → 受注増

受注高の見通し【SSI】



**受注が伸び悩み、黒字化は2017年9月期にずれ込む
⇒「Project Phoenix」での取り組みを強化する**

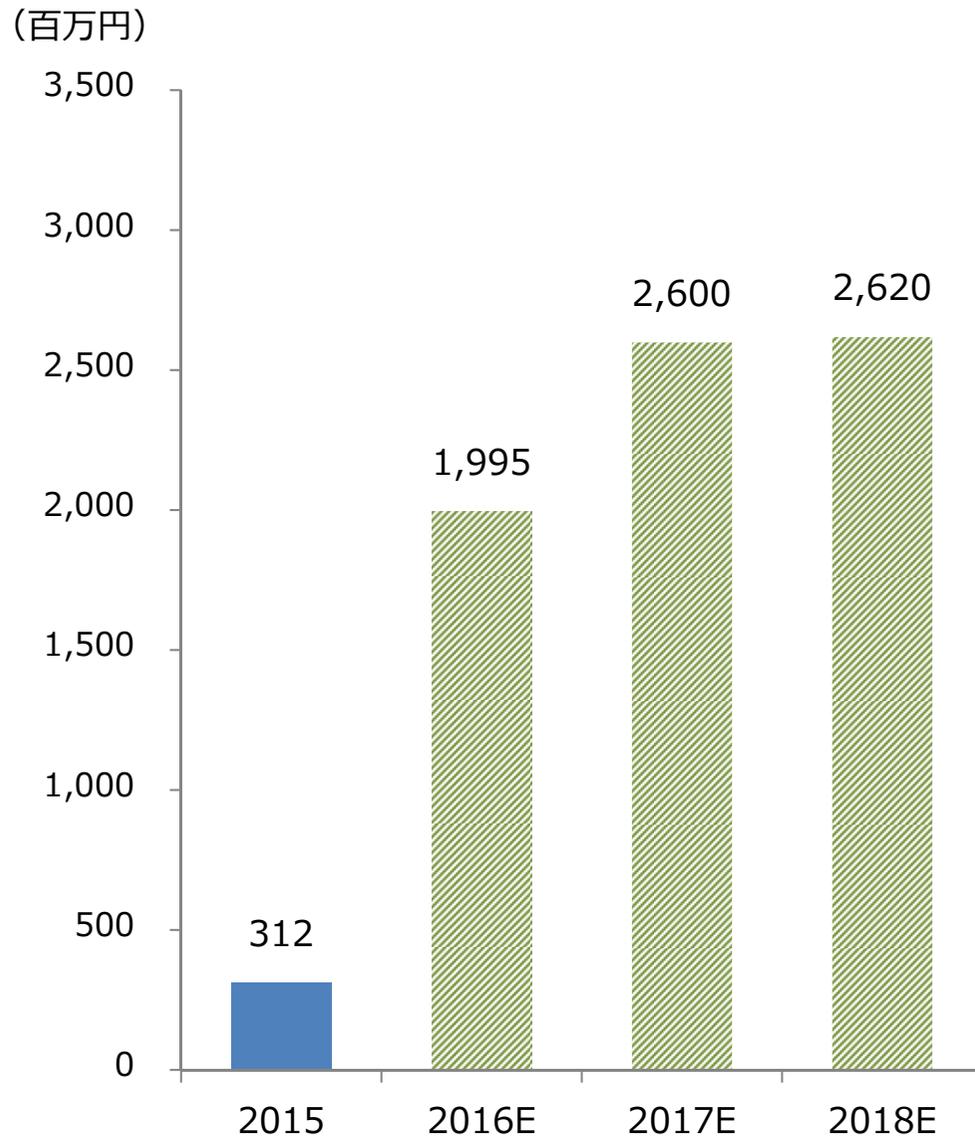
Project Phoenix

Orphan Drug

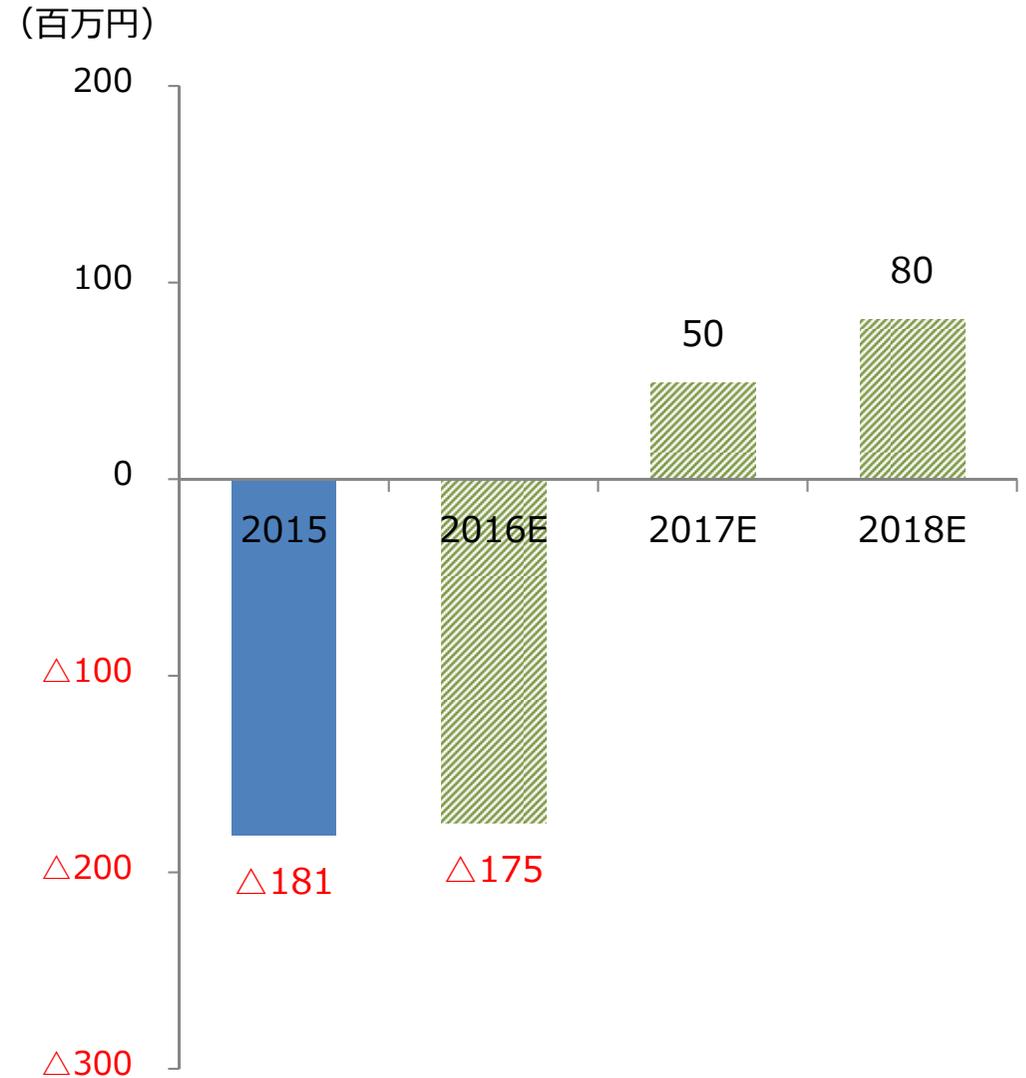
希少疾病用医薬品

売上・営業利益の見通し【Orphan Pacific】

【売上高】



【営業利益】



オーファンドラッグにおける取り組み

売上規模拡大

- ▶ 国内外の既存薬を積極的に導入・販売
- ▶ コ・プロモーション、コ・マーケティング
- ▶ 海外のバイオベンチャーやAROから導入
⇒ 自社開発/販売 (MAH)

Low cost operation model

- ▶ シミック/メディパル両グループの人材・機能を活用
- ▶ WEB、コールセンターなどの活用



2017年9月期に黒字化を目指す

販売品目の概要

自社開発品目

	適応症	患者数	発売開始	ライセンス元
ブフェニール®* (フェニル酪酸ナトリウム)	尿素サイクル異常症	237名 ¹⁾	2013/1/17	ハイペリオン
ノーモサング®* (ヘミン)	急性ポルフィリン症患者における急性発作症状の改善	36名 ²⁾	2013/8/23	オーファンヨーロッパ

*オーファンドラッグ指定

1) 「平成22年度小児慢性特定疾患治療研究事業」より

2) 「平成21年遺伝性ポルフィリン症に関する全国疫学調査（一次調査）結果」より

承継品目

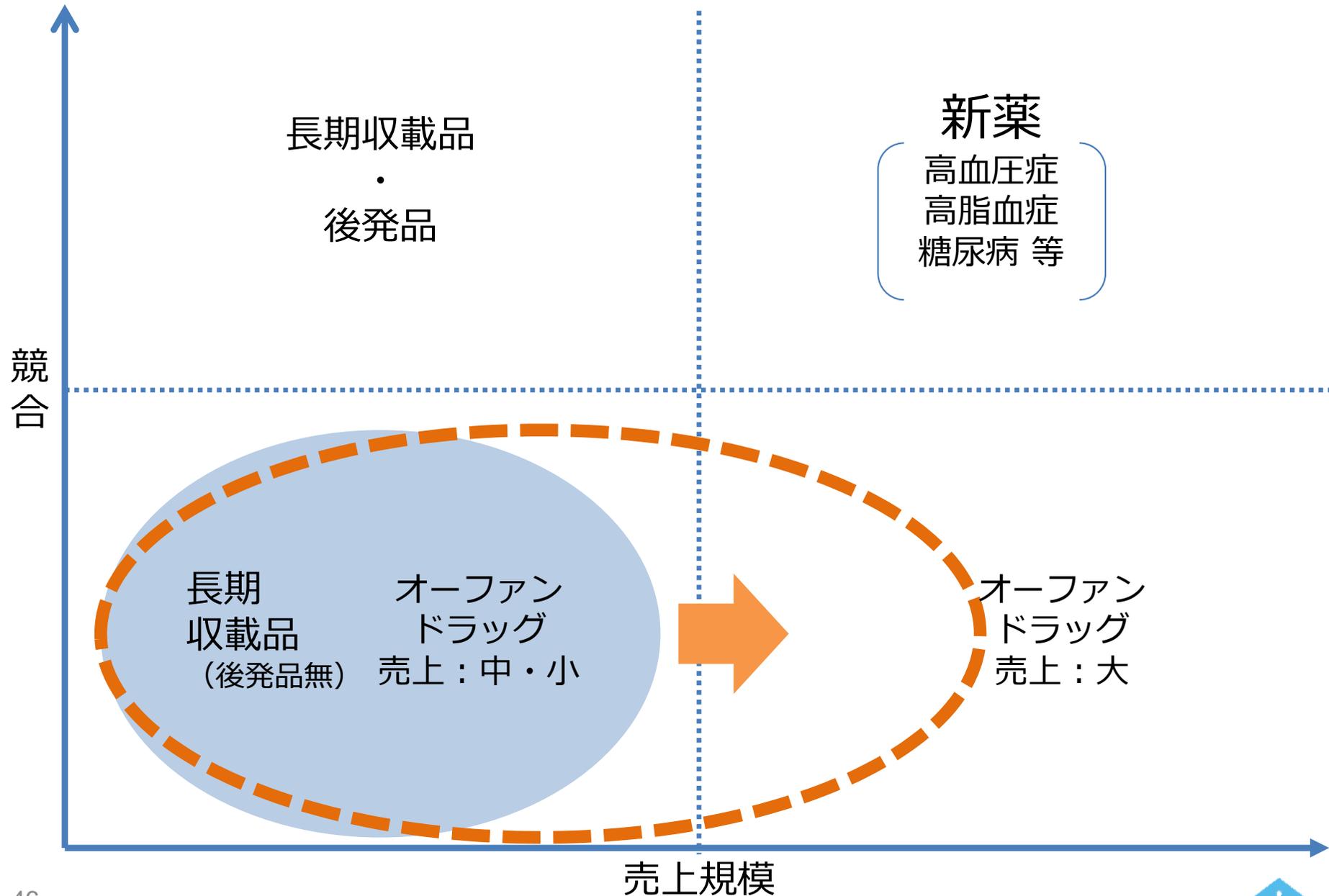
	剤形	分類	発売日	承継日	承継元
ソマゾン®* (メカセルミン)	注射用10mg	ヒトソマトメジンC製剤	1995/2/2	2015/4/1	アステラス製薬
ダントリウム®* (ダントロレンナトリウム水和物)	カプセル25mg	痙性麻痺緩解剤 悪性症候群治療剤	1981/1/7	2015/10/1	
	静注用20mg	悪性高熱症治療剤 悪性症候群治療剤	1985/9/3		
アストミン® (ジメモルファンリン酸塩)	錠10mg	鎮咳剤<非麻薬>	1974/12/9		
	散10%		1974/12/9		
	シロップ0.25%		1976/8/16		

*オーファンドラッグ指定

コ・プロモーション

	剤形	分類	販売開始日	製造販売元
ノピコール® (ナルフラフィン塩酸塩)	カプセル2.5μg	血液透析患者、慢性肝疾患患者における経口そう痒症改善剤	2015/5/26	東レ・メディカル

マーケット拡大のイメージ



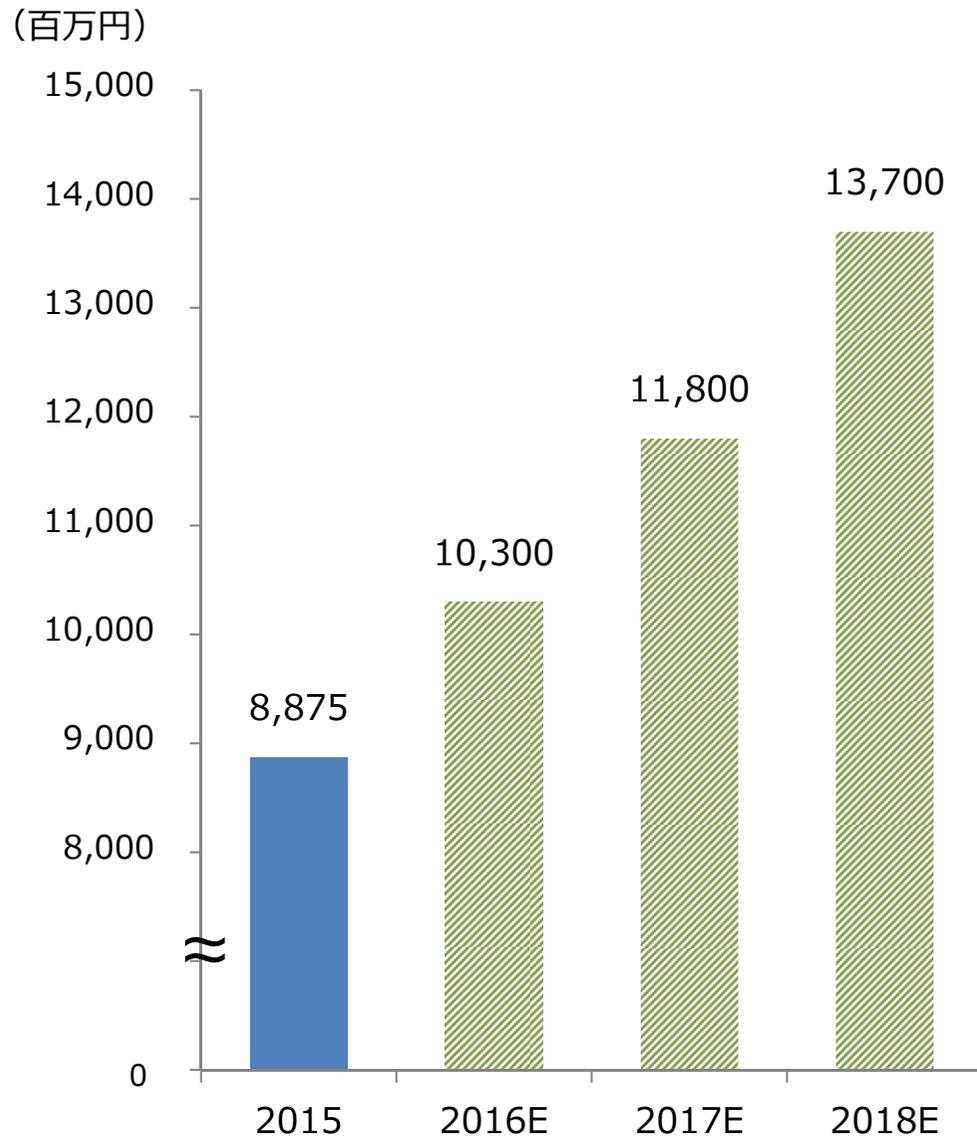
Project Phoenix

CSO

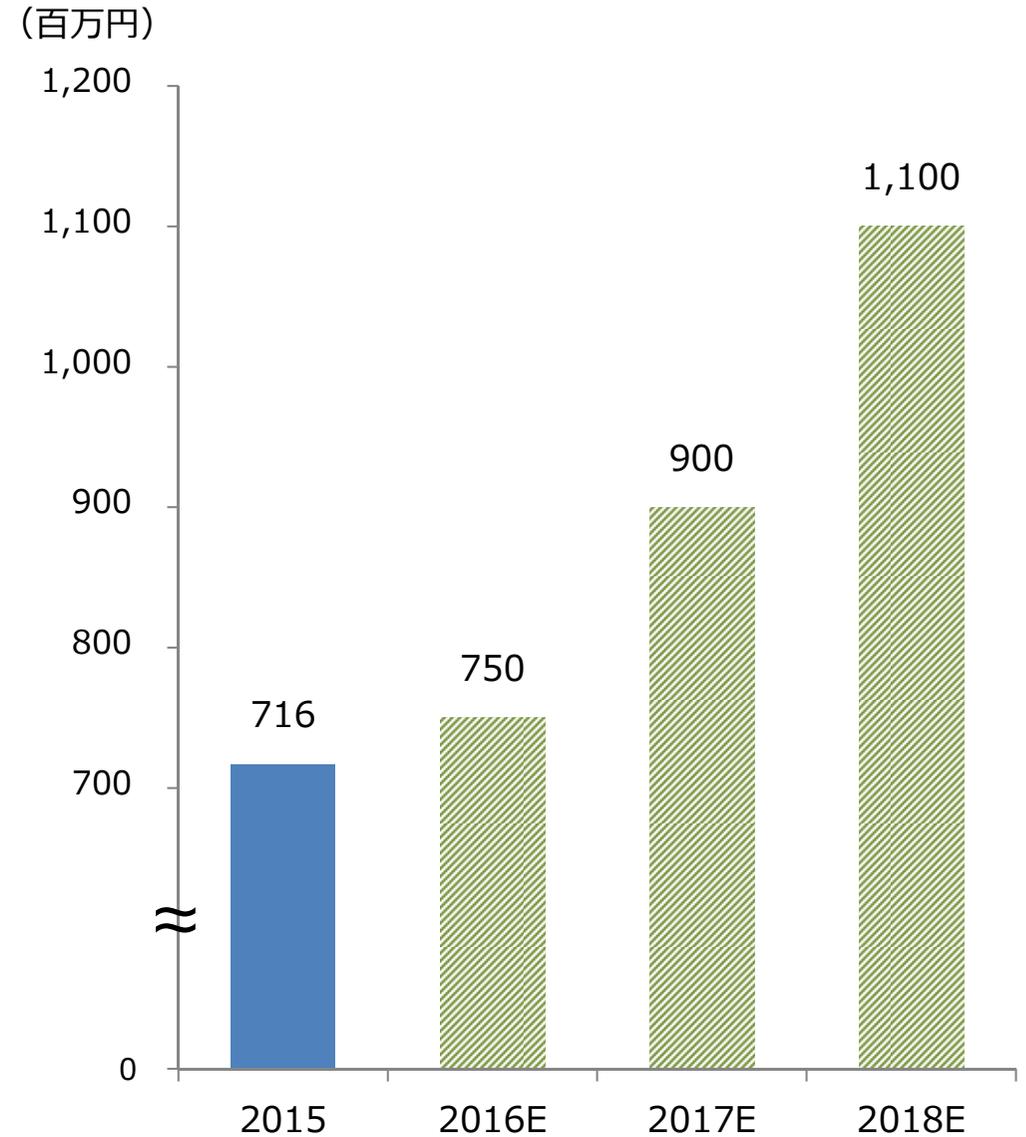
医薬品営業・マーケティング支援事業

売上・営業利益の見通し【CSO事業】

【売上高】



【営業利益】



CSO事業の展望

◆ 海外CSOとの連携効果をさらに高める

成熟したEU市場での経験に基づくコマーシャル事業モデルを導入

⇒ 『提案力』を武器とするCSOへ



- ヨーロッパ最大級、世界22拠点にネットワークを持つCSO
- グローバルでの事業実績、経験、顧客とのリレーションシップ



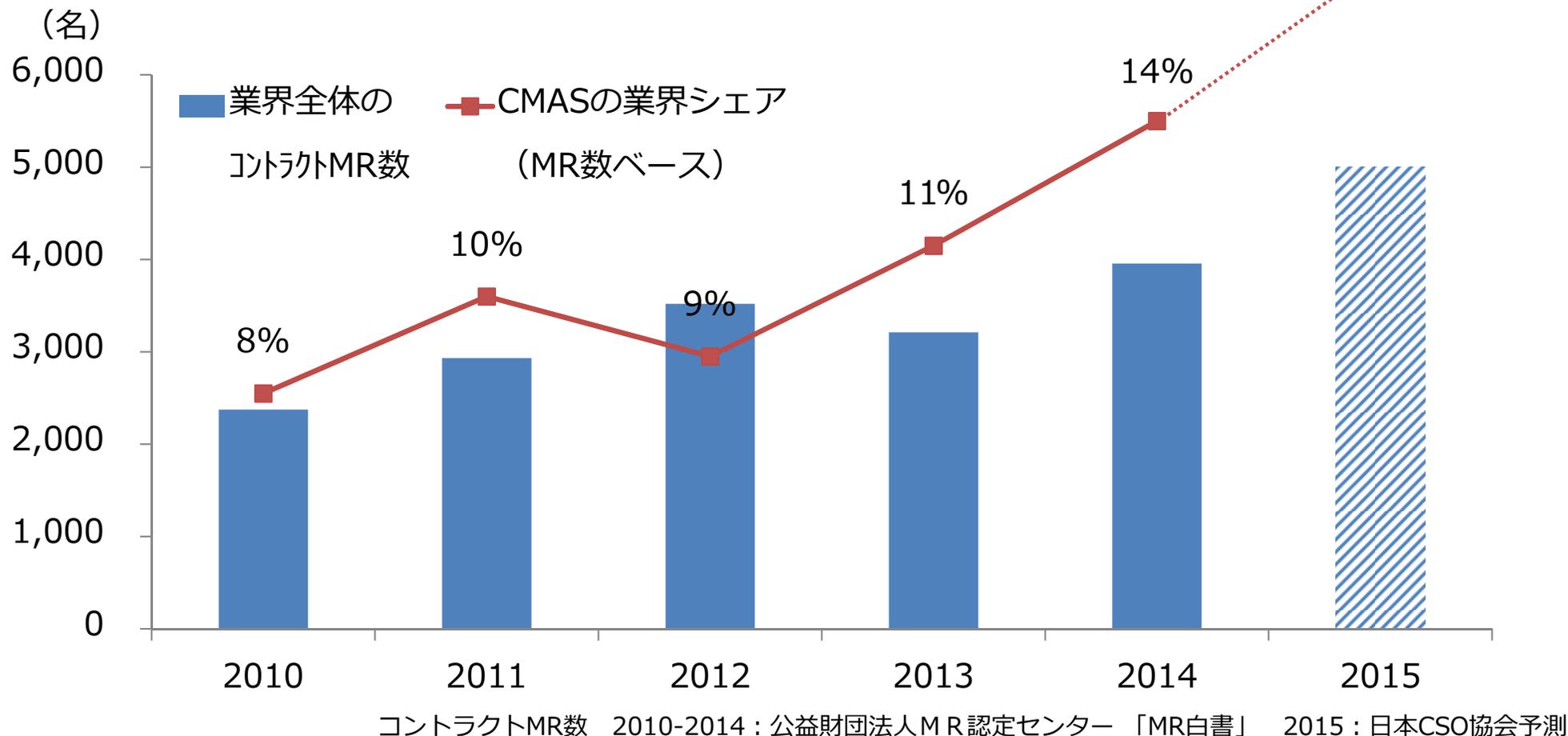
- 日本での事業実績、経験、顧客とのリレーションシップ
- グループ内のCRO、CMO、SMO、IPD事業等とのシナジー効果



(前期比増減率)

売上高	+21%	新規顧客	+48%
営業利益	+40%	採用コスト	△8%

コントラクトMR数のシェアが拡大



需要の波はあるものの、依然としてアウトソースのニーズが高く、今後も堅調に成長する見込み

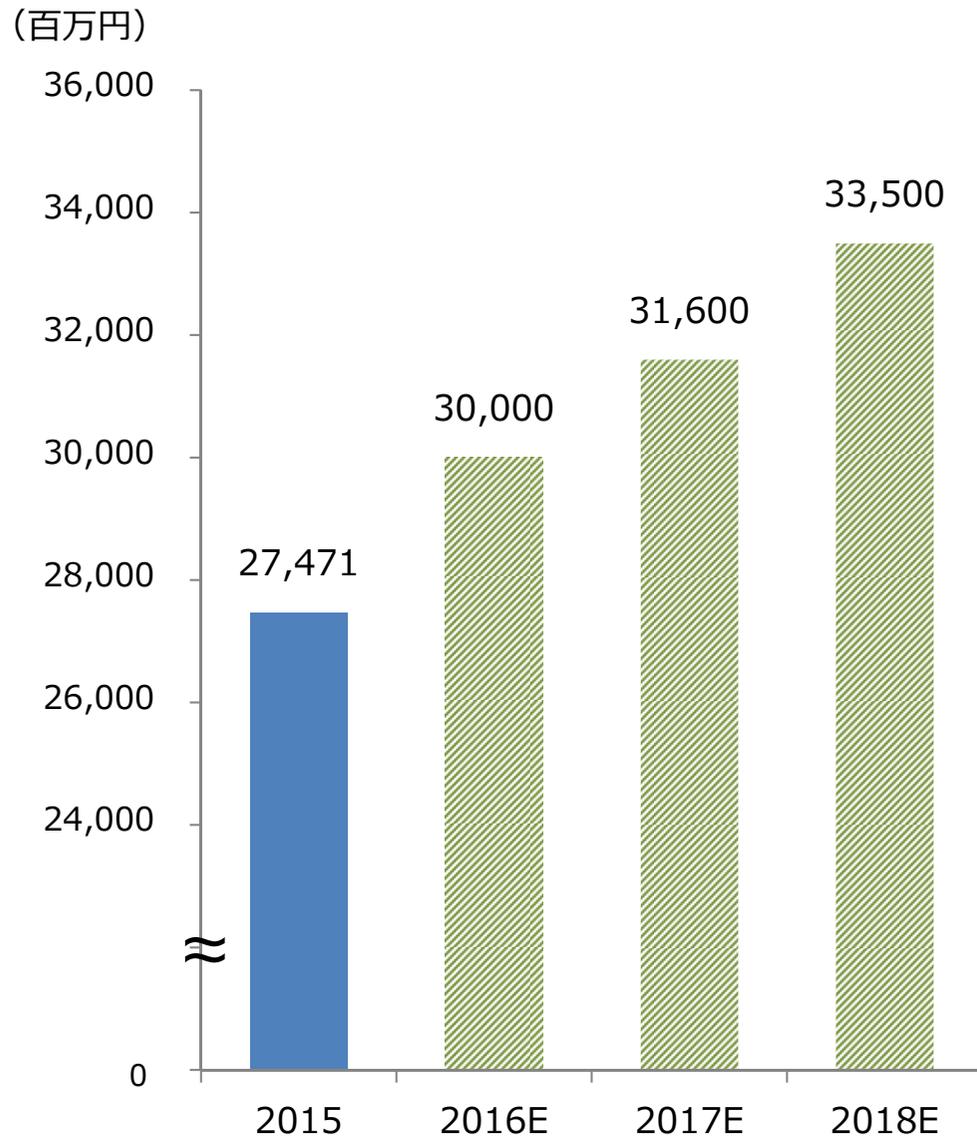
Project Phoenix

CRO

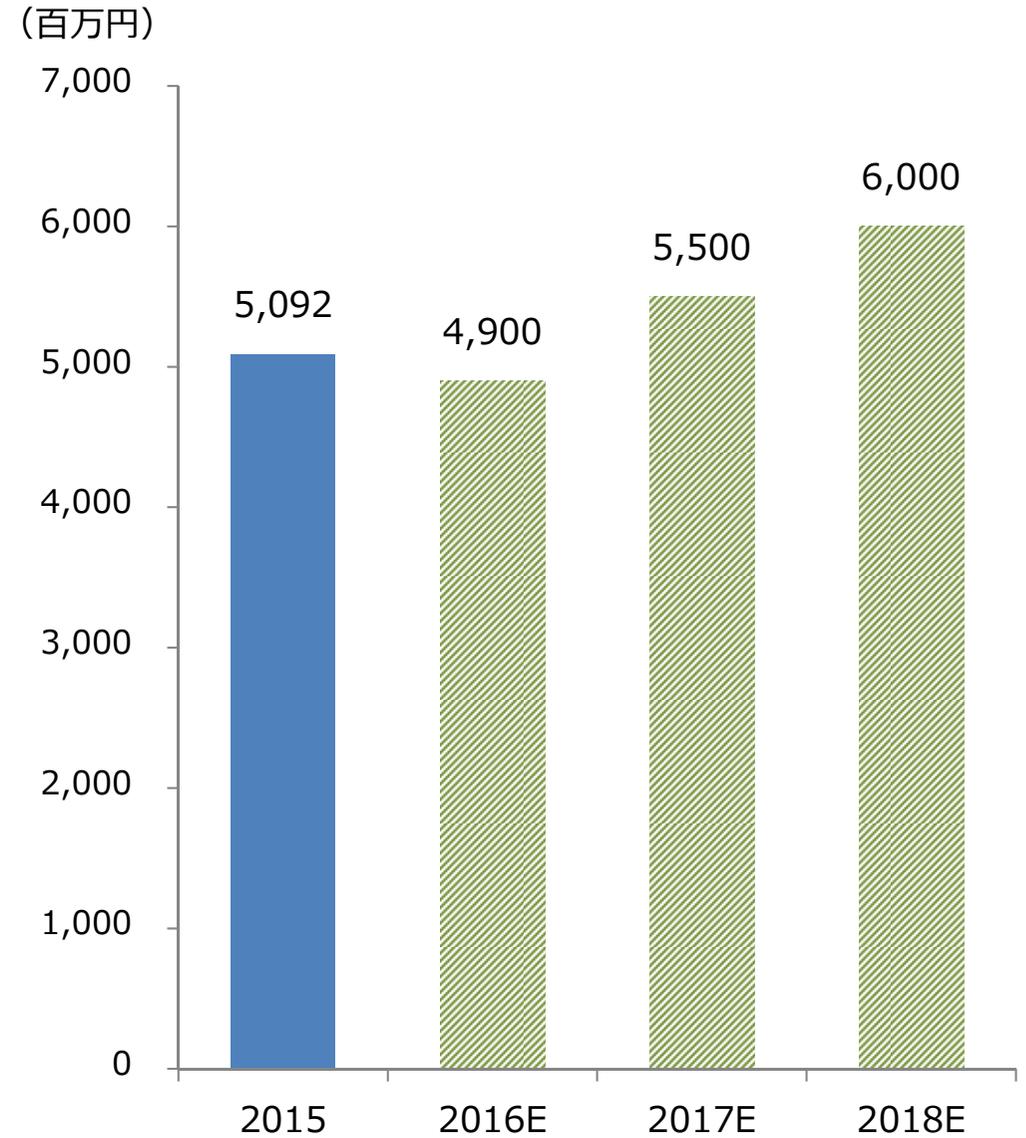
医薬品開発支援事業

売上・営業利益の見通し【CRO事業】

【売上高】



【営業利益】



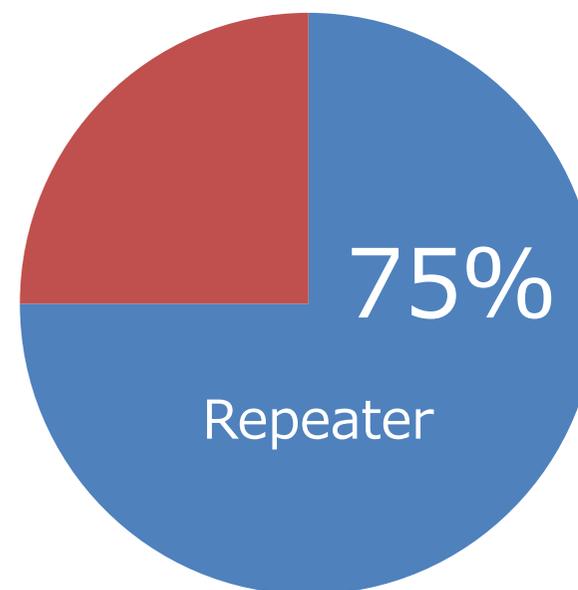
CRO事業の展望 – 安定性

- ◆ 製薬企業の戦略的パートナーとして、今後も安定的な受注が見込まれる

受注額（モニタリング）



受注額（データマネジメント）



人材の育成に努め、品質をさらに高めるとともに、Project Phoenixで効率化しコスト競争力も高める

CRO事業の展望 – 発展性

◆ 事業環境の変化は売上増につながる要素が多い

【製薬業界のトレンド】
ビジネスモデルの多様化
アカデミア創薬

【新薬のトレンド】
バイオ医薬

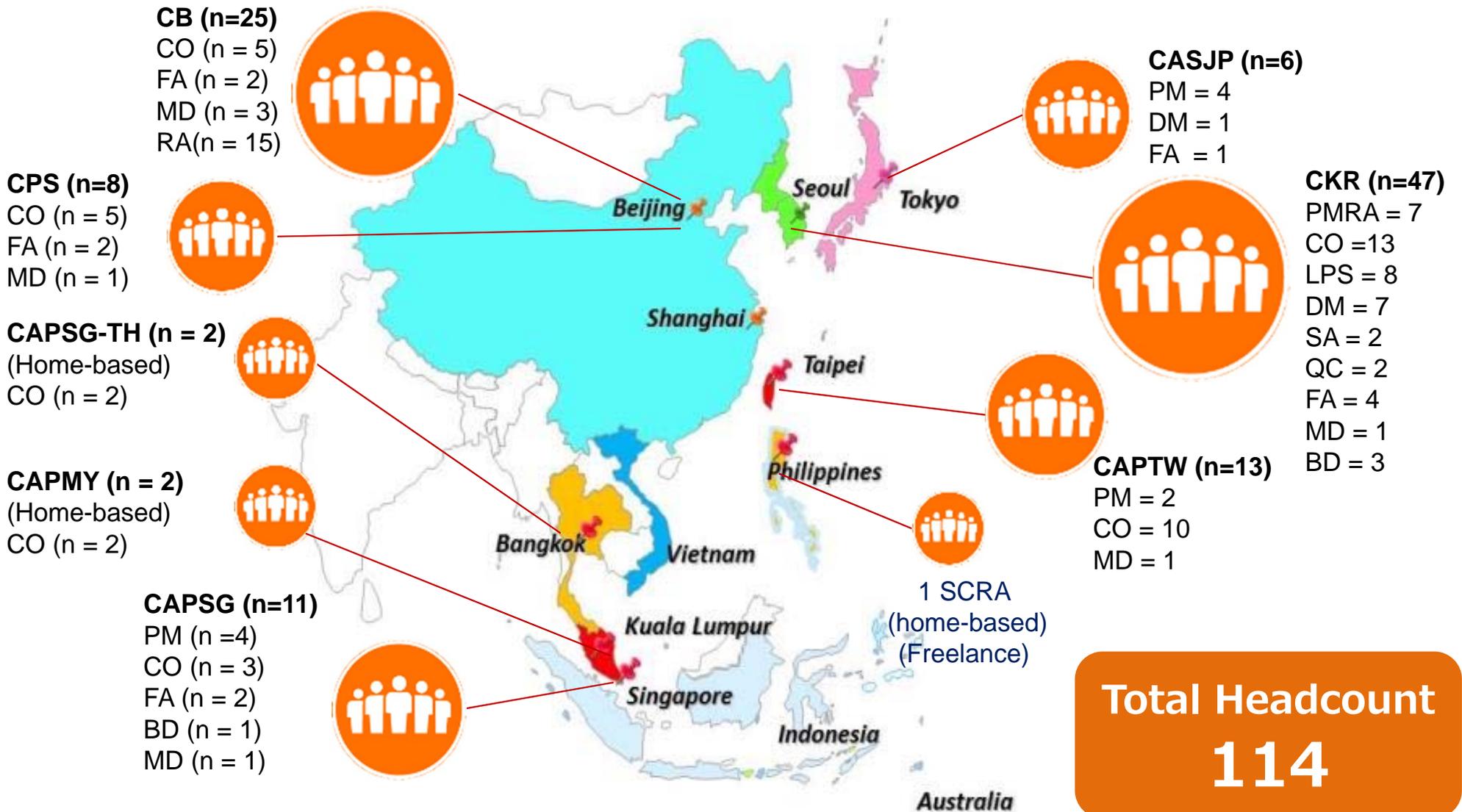
【国内・規制/政策】
医療費抑制
AMED設立
薬事法改正（薬機法）
再生医療の促進

- ▶ 顧客のビジネスモデル変化に伴うアウトソースニーズの拡大
- ▶ アカデミア、バイオベンチャーからの案件増加
- ▶ 国際共同／多地域試験の増加
- ▶ CDISC対応、RBMニーズの拡大
- ▶ 医療機器メーカーからの案件増加

人材の高度化、IT化の促進、グループシナジーの発揮により、あらゆるニーズに対応するNo.1CROへ

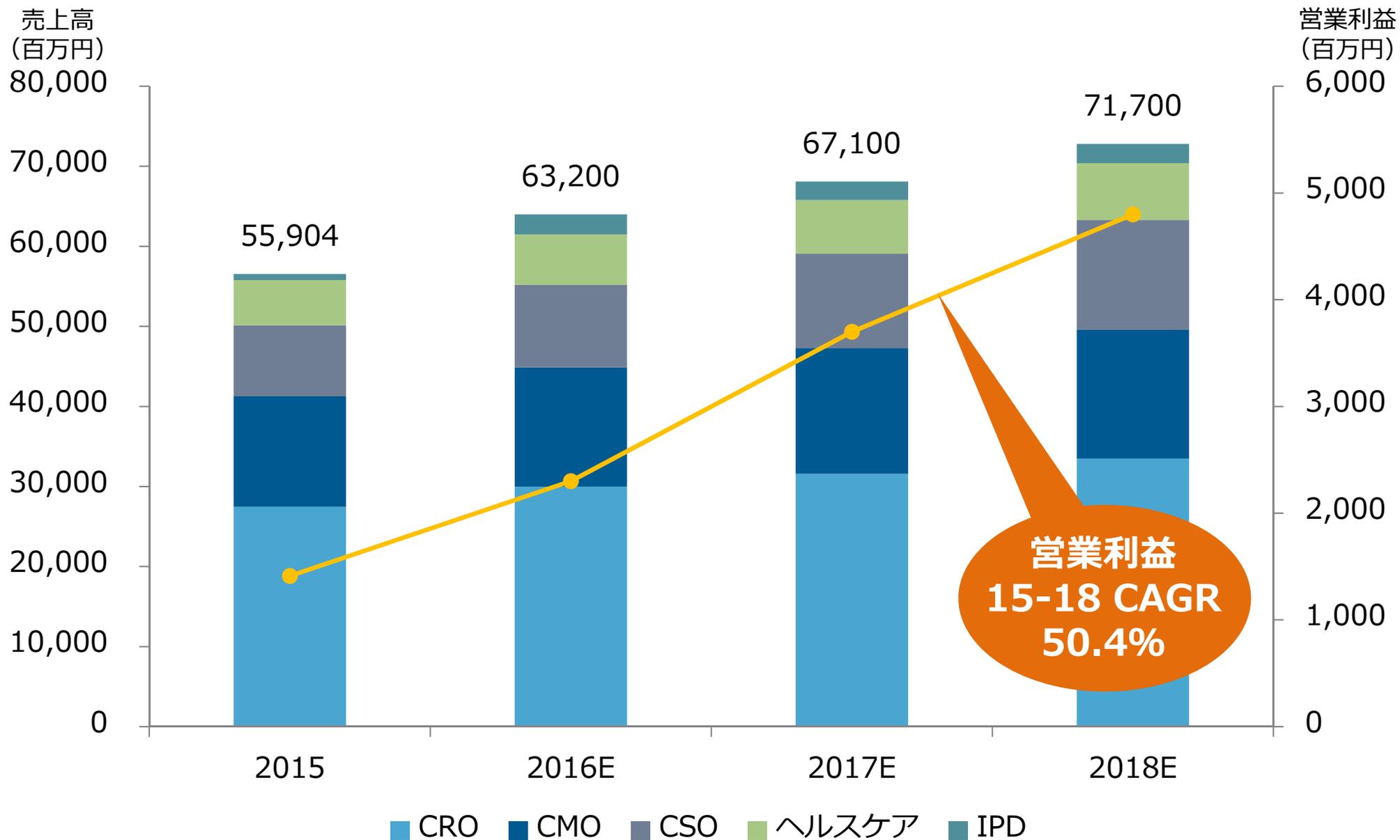
グローバル展開の強化

◆シンガポールを中心にアジア展開を強化



Project Phoenixの 見通し

中期計数計画





さらなる進化に向けて —ソリューションビジネス—

PVCの進化 ～ソリューションビジネスへ

◆ アカデミアソリューション

- ▶ アカデミアに不足するスキルなどを総合的にサポート

◆ ジャパンビジネスソリューション

- ▶ 海外企業の日本展開（ICCC、Japan KK設立など）をサポート

◆ オンコロジービジネスソリューション

- ▶ オンコロジー領域での開発・製造・マーケティングを総合的にサポート

◆ バイオ医薬ビジネスソリューション

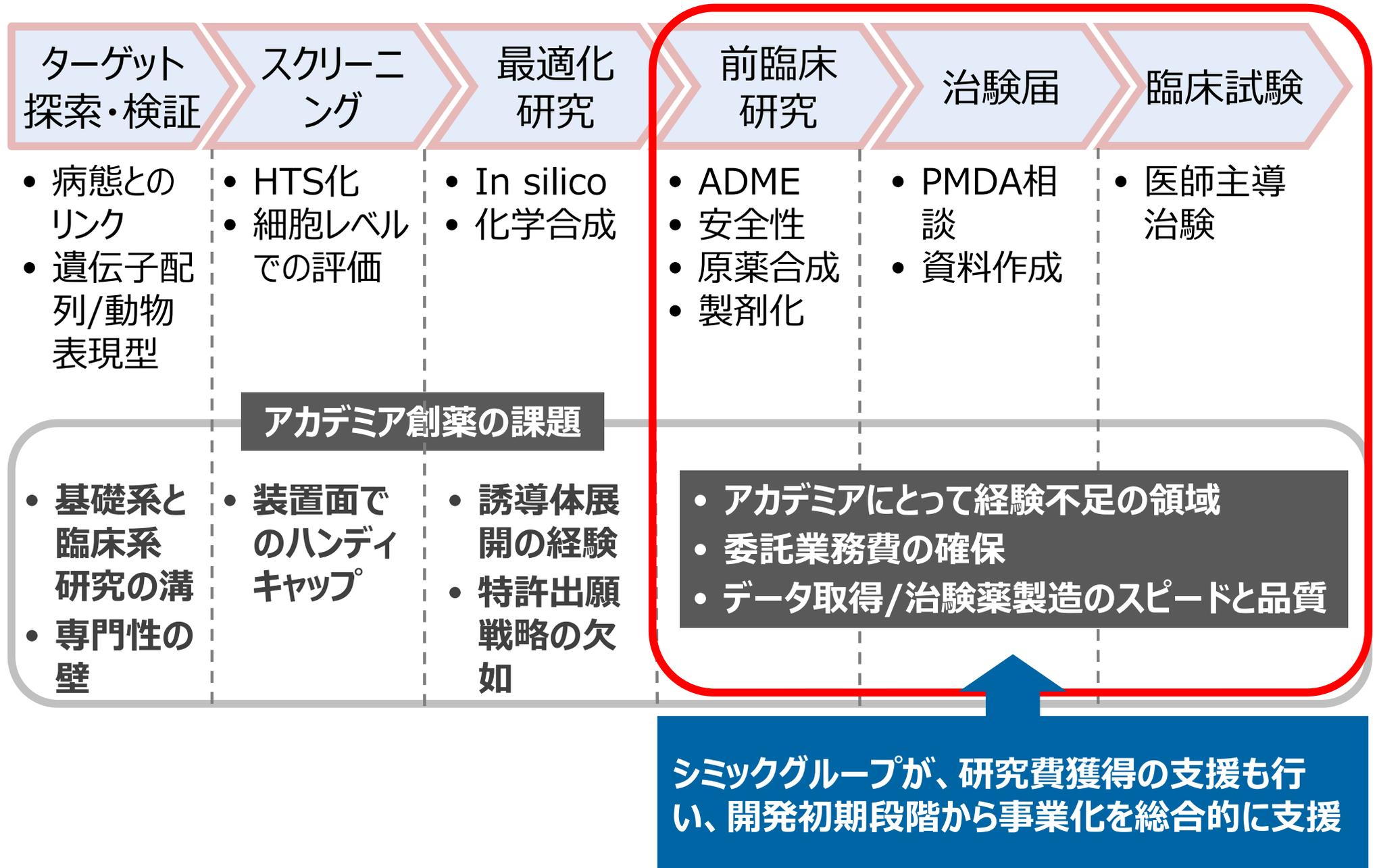
- ▶ バイオ医薬品の分析から製造（次世代抗体など）までをサポート

◆ 生薬ビジネスソリューション

- ▶ アカデミアを活用した生薬の安定供給に向けたソリューション

◆ ベトナムにおけるヘルスケアビジネス展開

具体例：アカデミアソリューション



アカデミアソリューション事業の背景

- 健康・医療分野の産業育成と基礎研究成果の臨床応用を推進する政策が実行に移される中、シミックグループのアカデミア案件の受注も増加している。

健康・医療戦略

- 新産業育成
 - 官民ファンドによるヘルスケア産業の創出・育成に向けた支援

日本医療研究開発機構

- オールジャパンでの医薬品創出
- 革新的医療技術創出拠点プロジェクト

ベンチャー創出・育成

シミックグループ

アカデミア研究成果の臨床応用

- 非臨床試験（GLP）
- 製剤開発・治験薬生産
- 薬事コンサルティング
- 医師主導治験

アカデミア研究支援が増加

オンコロジービジネスソリューション



報道機関各位

2015年11月11日

シミックホールディングス株式会社

株式会社シフトゼロとの資本業務提携に関する基本合意について ーオンコロジー領域^{*1}におけるサービス体制を強化ー

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：中村和男、以下「シミック」）は、株式会社シフトゼロ（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：藤丸 清志、以下「シフトゼロ」）との間で、資本業務提携に関する基本合意を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的

近年の新薬開発は、市場規模が大きい生活習慣病領域から、治療法自体がない又は既存医薬品では治療満足度が低いアンメット・メディカル・ニーズの高い領域に拡大しております。特にオンコロジー領域においては、さまざまな疾患に向けた新薬が開発されており、領域全体での市場規模の拡大が見込まれております。一方で、新薬開発におけるリスク・コストが増大しており、従来よりも専門性が高度な臨床開発支援、市販後のプロモーションやライフサイクル全体を見据えた総合的なサービスが求められております。

シミックグループは、1992年に日本初のCRO（医薬品開発支援）事業を開始して以来、多数の臨床開発受託および自社製品臨床開発の実績を持っており、また、製造、営業・マーケティングなど医薬品に関する総合的な支援業務を提供しております。

この度資本提携も視野に入れた基本合意により、シフトゼロが持つオンコロジー領域における高度な知見・ノウハウとシミックが持つ医薬品に関する幅広いサービスが連携することで、オンコロジー領域を中心とした開発・製造・マーケティングに関する総合的なソリューションの提供が可能となり、新薬の価値向上に貢献できるものと考えております。

2. 提携先の概要

会社名	株式会社シフトゼロ (ShiftZero K.K.)
所在地	東京都港区三田1-6-3-2806
設立	2014年11月19日
代表者	代表取締役 CEO 藤丸 清志
事業内容	医薬品に関わるコンサルティング、マーケティング、開発受託

以上

*1：がんなどの癌腫の原因・治療などについて研究する学問分野。腫瘍学。

【シミックホールディングス株式会社について】

シミックグループは、1992年に日本で初めてCRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。また、ヘルスケア事業、診断薬やオーファンドラッグの自社での開発販売なども行い、多様化する

2015年11月11日 オンコロジー領域における サービス体制を強化するため、 シフトゼロとの資本業務提携に関 する基本合意を締結

【株式会社シフトゼロ】

オンコロジー領域を始めとする難治疾患領域における
臨床開発から市販後のマーケティング活動までのフル
サービスCRO

<http://www.shiftzerokk.com>

**『CMICだからできる』
ソリューション展開で**

ヘルスケアに患者目線での革新を

Thank you for your attention.



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。